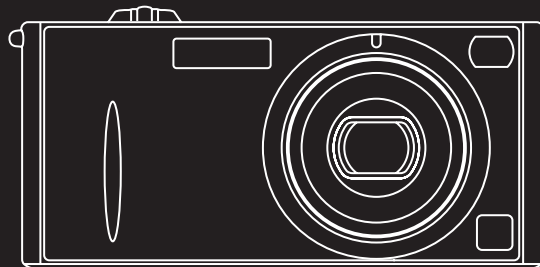
Panasonic

デジタルカメラ
取扱説明書

品番 DMC-FX5 / DMC-FX1

LEICA
DC VARIO-ELMARIT

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、デジタルカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（118 ～ 127 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0G11-1

もくじ

はじめに

準備

撮影・基本

再生・基本

撮影・シーンモード

撮影・応用

再生・応用

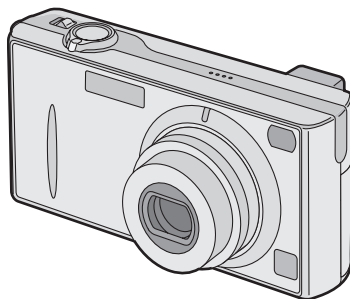
その他

特長

ライカ DC バリオ・エルマリートレンズ搭載

新開発 LSI（ヴィーナスエンジン）により高画質、高速処理を実現

光学手ぶれ補正機能（MEGA OIS）搭載

携帯性のよい、コンパクト＆軽量ボディ

秒４コマの高画質連写機能搭載

かんたんモードにより初心者でもかんたんに撮影可能

更に詳しい情報はホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp

モードダイヤルについて

本機には撮影シーンに合わせて使用できるモードダイヤルがあります。
お好みのモードを選んで、撮影のバリエーションを広げてお楽しみください。
モードダイヤルはゆっくり確実に回してください。

：ポートレートモード（P52）
ポートレート写真を撮りたい人はこのモードに。

：風景モード（P53）
遠くの風景をくっきり、きれいに撮りたいときに。

：マクロモード（P51）
被写体をアップにして撮りたいときに。

：夜景ポートレートモード（P54）
美しい夜景をバックに記念撮影したいときに。

：通常撮影モード（P32）
通常はこのダイヤルに合わせて撮影します。

：自分撮りモード（P55）
気軽に自分撮りしたいときに。

：再生モード（P45）
撮った画像を再生します。

：かんたんモード（P6）
初心者におすすめのモードです。

：動画モード（P56）
音声付き動画を撮影します。

●本書では、各機能で設定できるモードを以下のように説明しています。

設定できるモード

設定できないモード
設定できないモードはグレーで表示しています。

かんたんモードについて

ホワイトバランスとかメニューの設定ってよくわからないなぁ・・・？

そんなときは「かんたんモード」にしてみるんじゃ
必要なメニューだけが表示されるから迷うこともないぞ

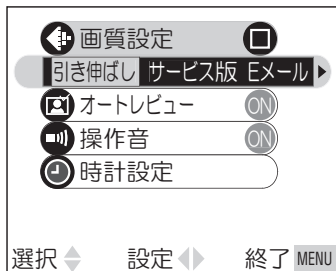
モードダイヤルをかんたんモードに合わせて…

メニューボタンを押す

画質設定も引き伸ばし、サービス版、Eメールと用途に合わせた表示だからピンと来るじゃろ？

うん。確かにかんたんね

初めての人に撮ってもらうときにも便利じゃ

次のページがかんたんモードのメニュー設定じゃ

項目	設定内容
画質設定	• 引き伸ばし（）： A3 や A4 などの大きめのサイズにプリントするときに最適です。 • サービス版（）： サービスサイズ（L 版）の大きさにプリントするときに最適です。 • E メール（）： 電子メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに最適です。
オートレビュー	• ON: 撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。 • OFF: 自動的に表示されません。
操作音	• ON: 操作音を出します。 • OFF: 操作音を消します。
時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。(P25)

■ 画質設定での記録画素数とクオリティ

項目	記録画素数	クオリティ
引き伸ばし	2304×1728 画素（DMC-FX5） 2048×1536 画素（DMC-FX1）	ファイン
サービス版	1280×960 画素	ファイン
E メール	640×480 画素	スタンダード

■ その他のかんたんモード設定

液晶明るさ（P28）

● [0]（標準）に固定されます。

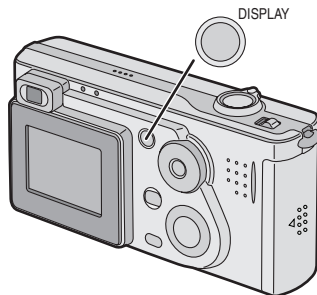
パワーセーブ（P28）

● [2 分] に固定されます。
● 電源 [ON] の状態に戻すには、シャッターボタンを押すか、または電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
● AC アダプター使用時は、パワーセーブが働きません。

エコモード（P28）

● [OFF] に固定されます。

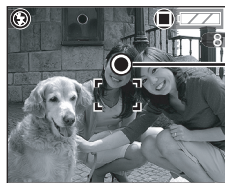
かんたんモードについて（つづき）

■ 液晶モニターの表示を切り換える

[DISPLAY] ボタンを押して切り換えてください。

● お願い・ヒント ●

- 連写は低速のみになります。（P44）

連写枚数	引き伸ばし	最大5コマ
	サービス版	最大5コマ
	Eメール	最大7コマ（DMC-FX5） 最大8コマ（DMC-FX1）

- 撮影可能範囲は 30 cm ～∞（T 端時）、10 cm ～∞（W 端時）になります。
- 被写体までの距離が撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していてもピントが合っていない場合があります。

- 時計設定以外のかんたんモードでの設定内容は他の撮影モードには反映されません。
- 画質設定でクオリティ（圧縮率）のみを変更することはできません。
- 撮影モード別の詳細設定については 58 ページを参照してください。

クイックガイド

はじめに…

- **お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので充電してからお使いください。**
- **本機/電源コード/バッテリー/カード/ACアダプター**を準備してください。

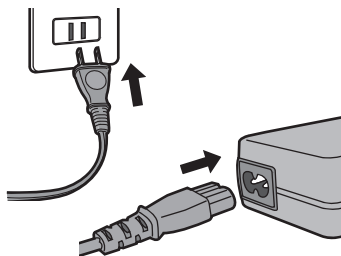
バッテリーを充電する

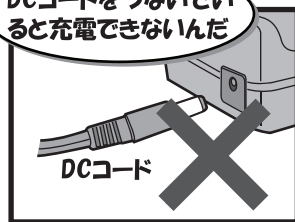
ACアダプターに電源コードをつなぐ

バッテリーをACアダプターに付ける

①

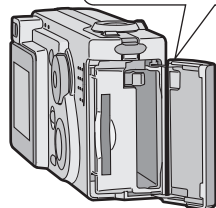
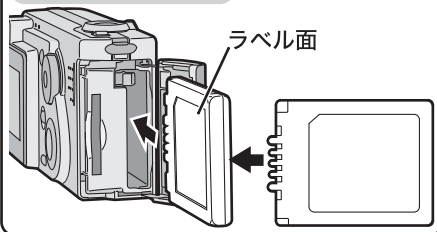
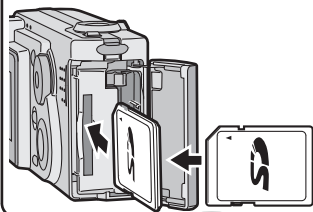
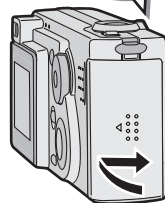
②

「カチッ」と音がするまで付ける…っと

DCコードをつないでいると充電できないんだ

DCコード

緑のランプが消えたら充電完了じゃ

クイックガイド（つづき）

バッテリー/カードを入れる

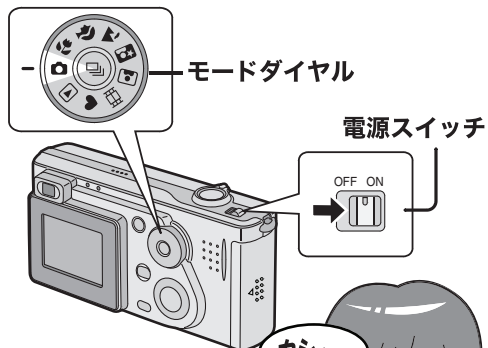
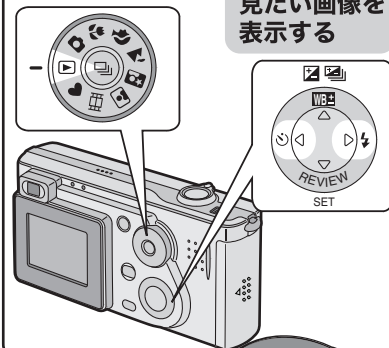
電源が**[OFF]**、レンズが収納されていることを確認してください。

撮影

電源を[ON]にする
時計を設定する（P25）
通常撮影モード[📷]にする

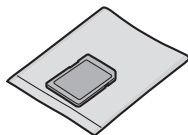
モードダイヤル

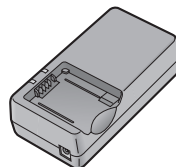
電源スイッチ

OFF ON

カシャッ

よ～し、いろいろ撮ってみようっと

付属品

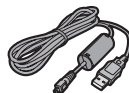
本機をご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることをご確認ください。記載の品番は 2003 年 11 月現在のものです。

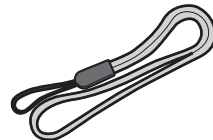
■ SD メモリーカード（16 MB）
RP-SD016B
（本文中では**カード**と表記します）

■ バッテリーパック
DMW-BCA7
（本文中では**バッテリー**と表記します）

■ バッテリーチャージャー/
AC アダプター
DE-929A/DE-929D
（本文中では **AC アダプター**と表記します）

■ 電源コード
K2CA2DA00009

■ DC コード
K2GH2DZ00001

■ AV ケーブル
K1HB08CD0003

■ USB 接続ケーブル
K1HB08CD0004

■ CD-ROM

■ ストラップ
VFC4033

使う前に まずお読みください

事前に必ずためし撮りをしてください（9 〜 11 ページのクイックガイドを参照してください）

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

著作権にお気を付けください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

カードの画像について

- 以下の場合、本機で再生できない場合があります。
  - 他機で記録、作成した画像
  - パソコンで編集した画像
- 本機で記録、作成した画像は他機で再生できない場合がありますので、あらかじめお確かめください。

本書内の写真、イラストについて

本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

本機で使用できるカードは

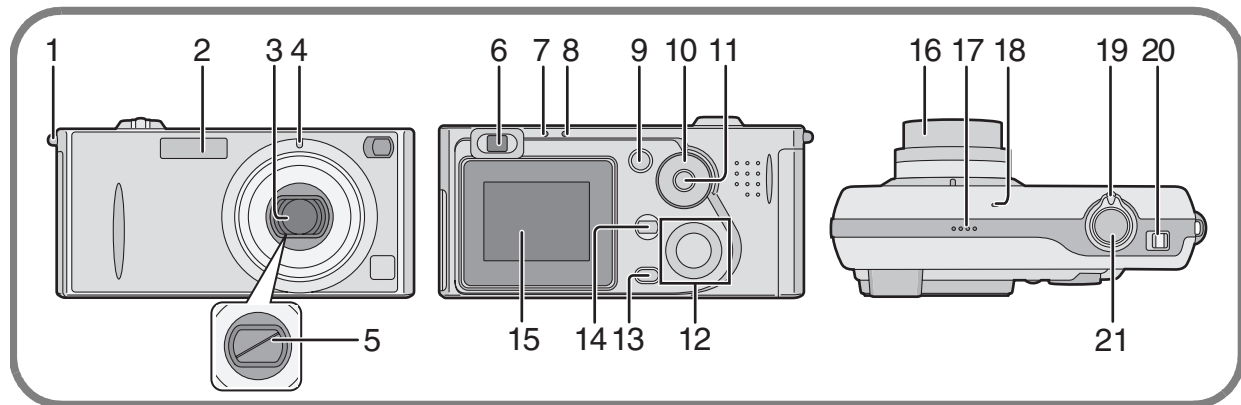
SD メモリーカード、マルチメディアカードです。

- 本書ではSDメモリーカードとマルチメディアカードをカードと記載しています。

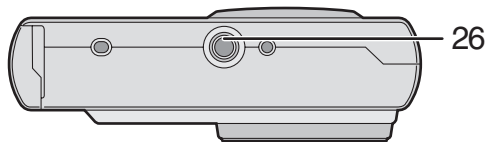
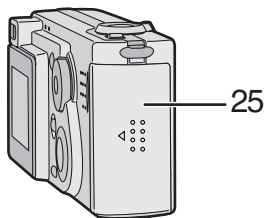
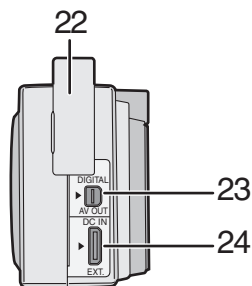
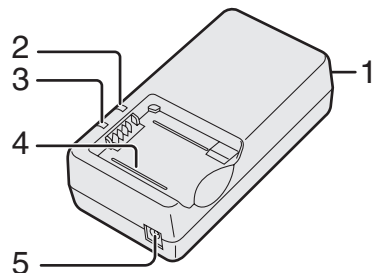
- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SD ロゴは商標です。
- Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の商標です。
- Macintosh、Mac OS は Apple Computer Inc. の登録商標または商標です。
- LEICA/ライカはライカマイクロシステムIRGmbHの登録商標です。
- ELMARIT/エルマリートはライカカメラAGの登録商標です。
- QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTime は米国および他の国々で登録された商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

各部の名前

1 ストラップ取付部(P24)
2 フラッシュ発光部
3 レンズ
4 セルフタイマーランプ
(P43, P55)
5 レンズカバー
6 光学ファインダー
7 フラッシュ/アクセスランプ
(P21, P33, P40)
8 動作表示ランプ(P33)
9 DISPLAY ボタン(P8, P29, P30, P86)

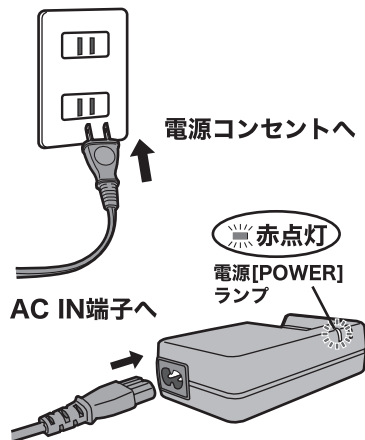
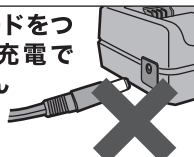
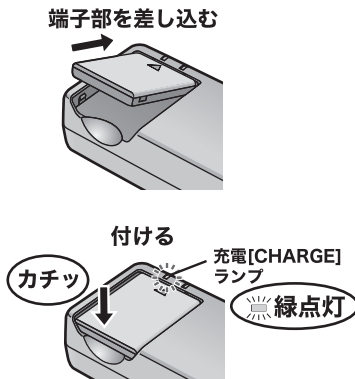
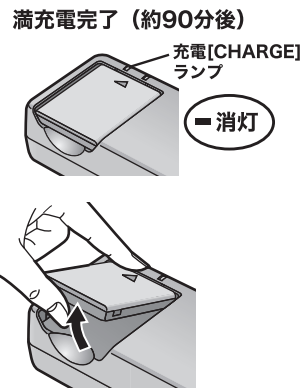
10 モードダイヤル(P5)
11 単写 / 連写切換ボタン(P44)
12 カーソルボタン
◀/ セルフタイマーボタン(P43)
▼/REVIEW/SET ボタン(P37)
▶/ フラッシュボタン(P39)
▲/露出補正(P41)/オートブラケット(P42)/WB 微調整(P61)ボタン
13 削除(P48)/FOCUS(P66)ボタン
14 MENU ボタン(P27)
15 液晶モニター(P8, P30, P113)

16 レンズ鏡筒(P34)
17 スピーカー(P75)
18 マイク(P56, P65)
19 ズームレバー(P38, P68)
20 電源 スイッチ(P32)
21 シャッターボタン(P32)

22 端子扉
23 DIGITAL（P104, P106, P109）/ AV OUT 端子（P101）
24 DC IN/EXT. 端子（P20）
25 メモリーカード / バッテリー扉（P18, P22）
26 三脚取付穴

[バッテリーチャージャー/ACアダプター]（P16）
1 AC IN 端子 (AC IN 〜)
2 電源 [POWER] ランプ
3 充電 [CHARGE] ランプ
4 バッテリー装着部
5 DC OUT 端子 (DC OUT)

バッテリーを充電する

●お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

1

2

3

お願い・ヒント

- 充電完了後、電源コンセントから外してください。
- 使用後、充電中や充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中は本機も温かくなりますが異常ではありません。
- 本機専用の AC アダプターとバッテリーを使用してください。
- AC アダプターは分解、改造しないでください。
- AC アダプターは海外でも使うことができます。（P134）

バッテリーについて

■ 残量表示について

残量表示が液晶モニターに表示されます。（AC アダプターにつないで使うときは表示されません）

→ → → （表示が赤色に変わり点滅します）：バッテリーを充電、または交換してください。

■ 充電時間と撮影可能時間について（撮影条件）

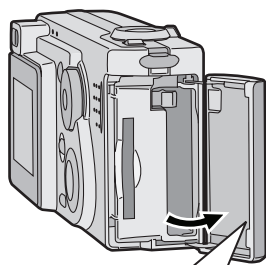
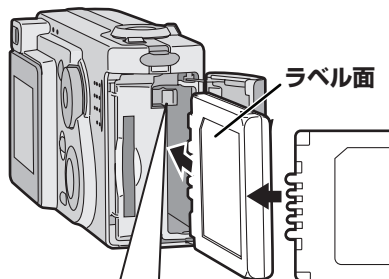
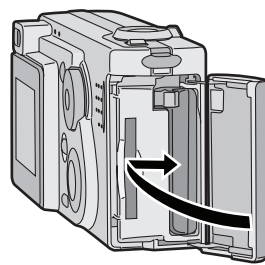
- 温度 25 ℃ / 湿度 60％
- 30 秒間隔で 1 回記録、フラッシュを 2 回に 1 回発光
- バッテリー（付属）、SD メモリーカード（付属）使用
  記録画素数：2304×1728（DMC-FX5）/2048×1536（DMC-FX1）
  クオリティ：ファイン
  （カード容量がなくなってから全画像削除した場合）

充電時間	約 90 分
撮影時間（枚数）	液晶モニター ON 時 約 60 分（120 枚相当）
	液晶モニター OFF 時 約 120 分（240 枚相当）
再生時間	約 100 分

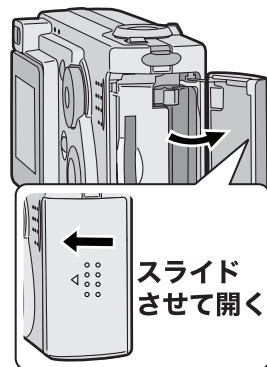
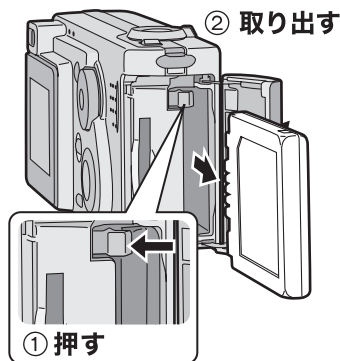
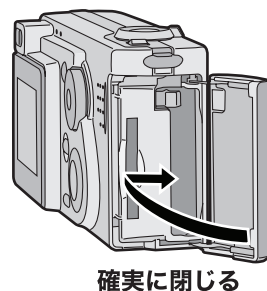
撮影時間（枚数）/ 再生時間は条件によって多少変わります。
別売のバッテリーパック（DMW-BCA7）の充電時間と撮影可能時間も同じです。

■ 充電する環境 / 充電エラーについて

- 充電は周囲の温度が 10℃～35℃（バッテリーの温度も同様）のところで行ってください。
- 充電が始まると、AC アダプターの充電 [CHARGE] ランプが点灯します。
  充電開始後、AC アダプターの充電 [CHARGE] ランプが点灯から約 1 秒間隔の点滅になった場合は充電エラーです。
  このときは、AC アダプターを電源コンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、周囲の温度やバッテリーが低温または高温になっていないかを確認し、もう一度充電し直してください。
  もう一度充電してもまだ充電 [CHARGE] ランプが点滅する場合は、販売店にご相談ください。

バッテリーを入れる

●電源が [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。

バッテリーを取り出す

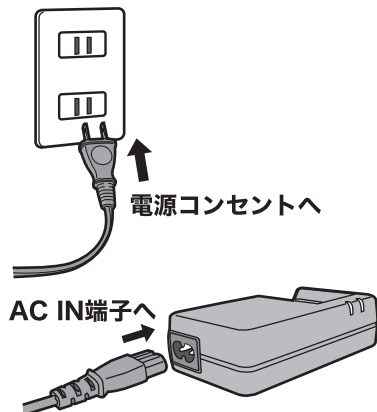
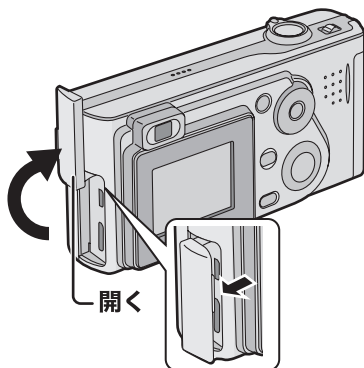
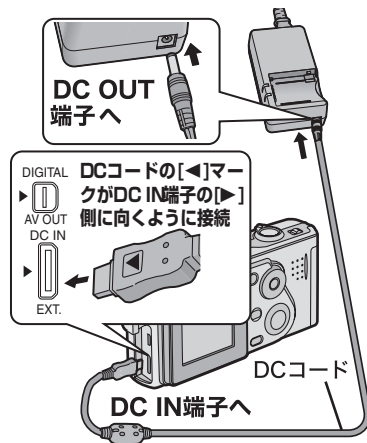
●電源が [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。

● お願い・ヒント ●

- 本機を長期間使用しないときは、バッテリーを取り出しておいてください。
- 満充電されたバッテリーを挿入して時間が経過すると、バッテリーを取り外して放置しても、経過時間に応じて最大約 3ヵ月まで時計設定を記憶しています。（十分に充電されていないバッテリーを挿入した場合は、記憶時間は短くなることがあります）しかし、それ以上時間が経過すると設定が消えてしまいますので、もう一度時計設定をし直してください。（P25）
- **カードのデータが破壊される可能性がありますので、アクセス中（P21）はカードやバッテリーを取り出さないでください。**
- **付属のバッテリーは、本機専用です。本機以外で使わないでください。**
- **設定がリセットされる可能性がありますので、動作表示ランプ（緑）が消灯してからバッテリーを取り出してください。**

AC アダプターにつないで使う

AC アダプターを使って電源コンセントにつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずに使えます。

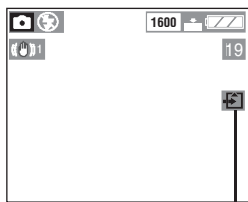
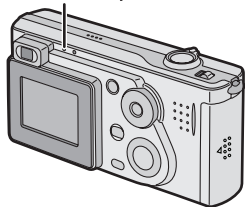
●電源が [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。

1

2

3

● お願い・ヒント ●

- 付属の DC コードを使用してください。それ以外の DC コードを使用すると、故障の原因になります。
- 使用中、本機が温かくなりますが、異常ではありません。
- AC アダプターは海外でも使うことができます。（P134）
- 必要がない場合は、AC アダプターと DC コードを抜いておいてください。
- AC アダプターを接続してカメラ本体でバッテリーを充電することはできません。

カードについて

■ カードにアクセス中は・・・
カードにアクセス（認識 / 記録 / 読み出し / 消去など）中は、フラッシュ/ アクセスランプとカードアクセス表示が点灯します。

フラッシュ/アクセスランプ

カードアクセス表示

フラッシュ／アクセスランプとカードアクセス表示が点灯しているときは、以下のことをお守りください。

- 電源を [OFF] にしない
- バッテリーを取り出したり、カードを抜いたりしない
- AC アダプター使用時は DC コードを抜かない

カードやカードの内容が壊れたり､本機が正常に動作しなくなることがあります。

電気ノイズ、静電気、本機やカードの故障などによりカードのデータが壊れたり消失することがありますので、大切なデータはパソコン（P104）などにも保存してください。

■ SD メモリーカード（付属）と
マルチメディアカード（別売）について

SD メモリーカードとマルチメディアカードは小型、軽量で、着脱可能な外部メモリーカードです。SD メモリーカードは記録 / 読み出し速度が速く､カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備えています。（スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなり、戻すと可能になります）

- マルチメディアカードを使う場合、動画記録後、フラッシュ / アクセスランプとカードアクセス表示がしばらく点灯する場合がありますが、異常ではありません。

SD メモリーカード

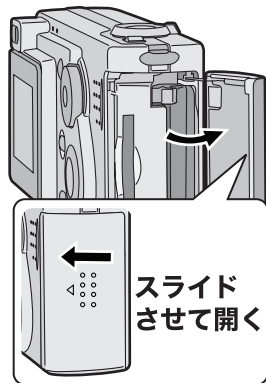
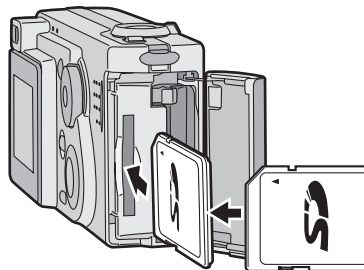
書き込み禁止
スイッチ

マルチメディアカード

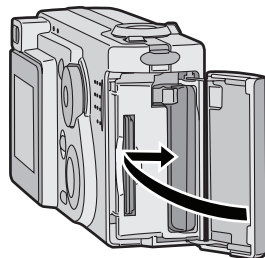
■ miniSD™ カード（別売）について

- miniSD™ カードを本機で使用する場合は、専用の miniSD™ アダプターを必ず装着してご使用ください。
- miniSD™ アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。必ず、miniSD™ カードを入れてご使用ください。

カードを入れる

● 電源が [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。

2

**「カチッ」と音がするまで
奥まで入れる**

● カードの向きを確認してください。
● カードの裏の接続端子部に触れないでください。

3

確実に閉じる

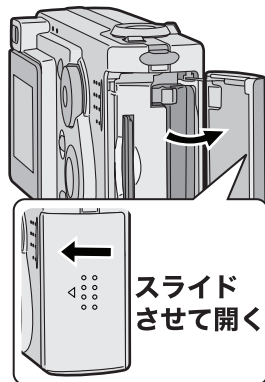
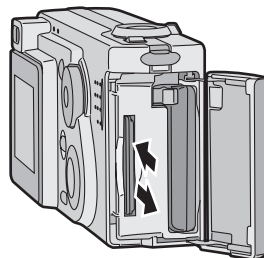
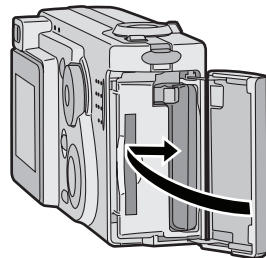
カードを取り出す

●電源が [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。

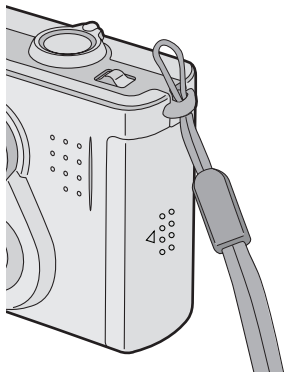
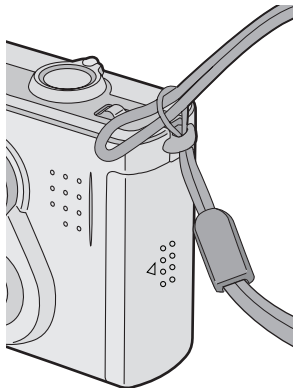
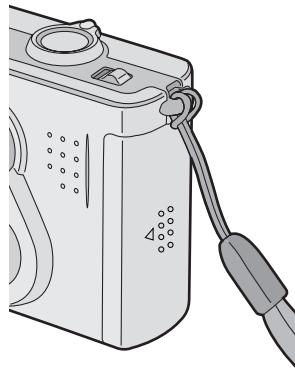
2

「カチッ」と音がするまで
押して、まっすぐ引き抜く

3

確実に閉じる

お願い・ヒント

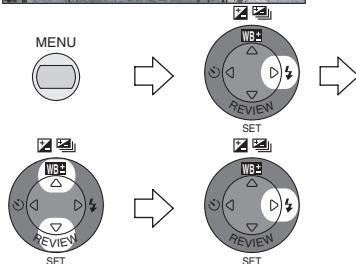
- 電源を [ON] にしたままカードを取り出すと、カードが壊れる恐れがあります。
- メモリーカード / バッテリー扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出してから、もう一度入れ直してください。
- カードが入らないときは、カードの向きが正しいか確認してください。
- カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。（正規カード以外は使用しないでください）
- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる恐れがあります。

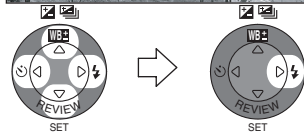
ストラップを付ける

時計を設定する

■ お買い上げ時は…

時計設定はされていませんので、下のような画面が表示されます。

[MENU] ボタンを押すと 2 の画面が表示されますので、時計設定をしてください。

1

セットアップメニューから [時計設定] を選ぶ（P29）

2

年月日と時刻を合わせる

- ◀/▶ ：合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選ぶ
- ▲/▼ ：年月日、時刻を設定する

時計を設定する（つづき）

3

表示の順番を選ぶ

- 表示順を変えると、以下のように表示されます。
  （例：2003 年 11 月 1 日 12 時 58 分）
  - [年 / 月 / 日]：2003.11.1 12:58
  - [日 / 月 / 年]：12:58 1.NOV.2003
  - [月 / 日 / 年]：12:58 NOV.1.2003
- 設定終了後、[MENU]ボタンを2回押して、メニューを終了してください。
- そのあと、一度電源を [OFF] にしてから、もう一度 [ON] にして、設定どおり表示されているか確認してください。

■ 日付プリントについて

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「SD Viewer for DSC 」をお使いの場合は、日付位置の設定をするとプリントできます。詳しくは別冊の「パソコン接続編」をお読みください。
- お店にデジタルプリントを依頼するときは、DPOF プリント設定で日付プリントの設定をするか（P86）、日付をプリントすることを別途指定してください。詳しくは、お店にお尋ねください。ただし、お店によっては、日付をプリントできない場合があります。

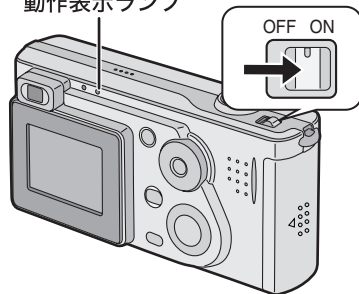
● お願い・ヒント ●

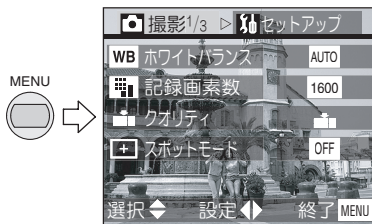
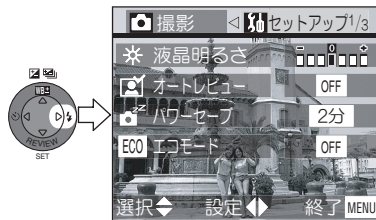
- 年は2003年から2099年まで設定できます。時刻は24時間表示です。
- 満充電されたバッテリーを挿入して時間が経過すると、バッテリーを取り外して放置しても、経過時間に応じて最大約 3ヵ月まで時計設定を記憶しています。（十分に充電されていないバッテリーを挿入した場合は、記憶時間は短くなることがあります）しかし、それ以上時間が経過すると設定が消えてしまいますので、もう一度時計設定をし直してください。

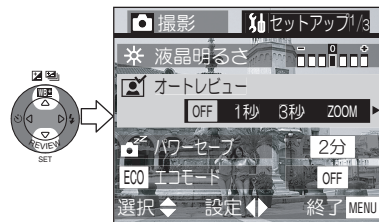
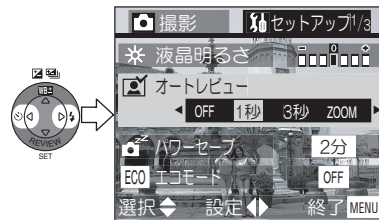
セットアップメニューを設定する

1

電源を[ON]にする

●動作表示ランプが点灯します。

2

メニュー画面を開く

[セットアップ] を選ぶ(黄色表示にする)

3

項目を選ぶ

設定する

● 設定終了後、[MENU] ボタンを押して、メニューを終了してください。

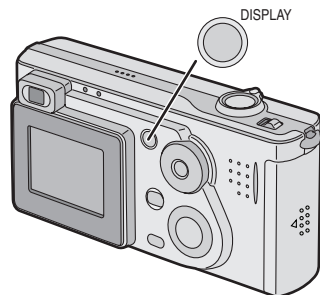
セットアップメニューについて

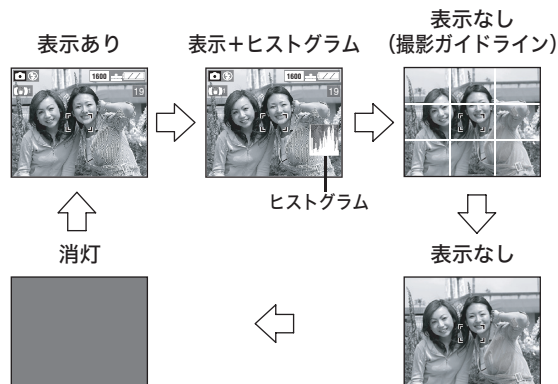
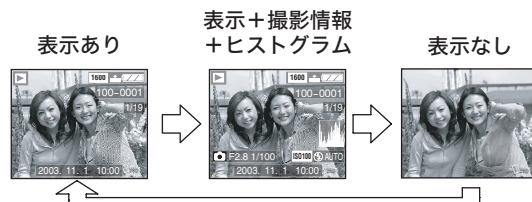
項目	設定内容
液晶明るさ	液晶モニターの明るさを 7 段階に調整できます。
オートレビュー（撮影モードのみ）	• OFF: 撮影後に撮影画像が自動的に表示されません。 • 1 秒 : 撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。 • 3 秒 : 撮影後に撮影画像が約 3 秒間表示されます。 • ZOOM: 撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。そのあと、4 倍に拡大された画像が約 2 秒間表示されます。 • オートレビューの設定に関わらず、連写、オートブラケットのときは、カード記録中にオートレビューされます。（拡大はされません） • オートレビューの設定に関わらず、音声付き静止画は、音声記録中とカード記録中にオートレビューされます。（拡大はされません） • 動画モード [ ] と自分撮りモード [ ] では設定できません。
パワーセーブ	• 2 分 /5 分 /10 分 : 設定した時間の間に何も操作しないとパワーセーブモード（電源 [OFF] と同様の状態）になります。電源 [ON] の状態に戻すには、シャッターボタンを押すか、または電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。 • OFF: パワーセーブモードになりません。 • AC アダプター使用時、パソコン接続時、プリンター接続時、動画撮影 / 再生時、スライドショー中はパワーセーブは働きません。
ECO エコモード（撮影モードのみ）	撮影時、約 15 秒間何も操作をしないと、「液晶オフ」のメッセージのあと液晶モニターが消灯し、消費電力が節約されます。いずれかのボタンを押すと、液晶モニターが点灯します。 • [ON] に設定すると、フラッシュ充電時にも液晶モニターが消灯します。 • [ON] に設定すると、パワーセーブの設定時間は [2 分] に固定されます。 • 再生モード [ ] とかんたんモード [ ] では使用できません。 • メニュー画面表示中やセルフタイマー設定中はエコモードは働きません。 • AC アダプター使用時や動画撮影中は、[ON] に設定しても働きません。
操作音	操作音の音量とシャッター音を設定します。シャッター音は ①、②、③ から選べます。 • : 操作音を大きくします。 • : 操作音を出します。 • : 操作音を消します。

項目	設定内容
番号リセット （撮影モードのみ）	次に撮影される画像のファイル番号を 0001 から記録したい場合に設定します。（フォルダー番号が更新され、ファイル番号が 0001 から始まります） • フォルダー番号は 100 ～ 999 まで作成されます。フォルダー番号が 999 になると番号リセットができなくなりますので、カードのデータをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
設定リセット （撮影モードのみ）	撮影設定またはセットアップ設定をお買い上げ時の状態に戻します。フォルダー番号と時計設定、かんたんモードの設定内容は変わりません。
時計設定	日付や時計を変更するときに設定します。（P25）
USB モード	USB の通信方式を設定します。パソコンやプリンターに接続する前に設定してください。（P102）
言語設定	メニュー画面は以下の 7 言語表記に設定できます。◀/▶ で言語を選び、▼ で決定してください。 • 日本語：メニュー画面を日本語表記にします。 • ENGLISH：メニュー画面を英語表記にします。 • DEUTSCH：メニュー画面をドイツ語表記にします。 • FRANÇAIS：メニュー画面をフランス語表記にします。 • ESPAÑOL：メニュー画面をスペイン語表記にします。 • ITALIANO：メニュー画面をイタリア語表記にします。 • 中文：メニュー画面を中国語（簡体語）表記にします。
スピーカ音量 （再生モードのみ）	スピーカーの音量を 7 段階に調整できます。 • テレビと接続したとき、テレビのスピーカーの音量は変わりません。
ビデオ出力 （再生モードのみ）	• NTSC:　ビデオ出力を NTSC 方式にします。 • PAL:　ビデオ出力を PAL 方式にします。（P134）

● お願い・ヒント ●

- 番号リセットと言語設定はかんたんモードにも反映されます。
- [DISPLAY] ボタンを 2 秒間押すと、パワーセーブモードに入ります。（シャッターボタンを半押しすると、元に戻ります）
- 誤って他の言語に設定した場合は、メニューアイコンの [ ] を選び言語設定をしてください。

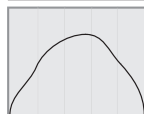
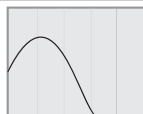
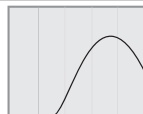
液晶モニターの表示を切り換える

[DISPLAY] ボタンを押して切り換えてください。

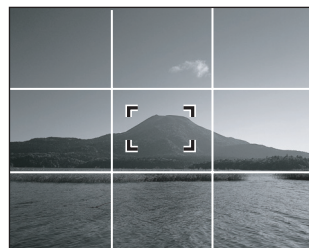
●メニュー画面表示時およびマルチ再生 / ズーム再生時は [DISPLAY] ボタンは働きません。

■ ヒストグラムについて

- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。
- 撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。
  - 中央を中心とした山になっている場合は、暗い部分、中間調、明るい部分がバランスよく分布した適正露出の画像となります。
  - 極端に左に寄っている場合は、暗い部分が多すぎるアンダー気味の画像となります。夜景など黒いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。
  - 極端に右に寄っている場合は、明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像となります。白いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムのグラフとなります。

■ ヒストグラムの表示例

適正な明るさの画像

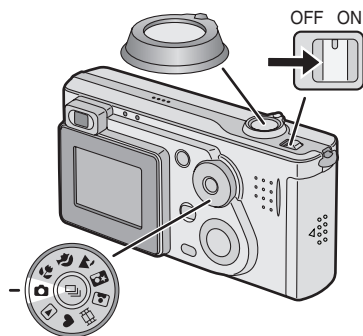
ヒストグラム

暗い画像

明るい画像

■ 撮影ガイドラインについて

被写体を縦横の交点上に配置して、バランスのよい画像を撮影することができます。また、横のラインに地平線や水平線を合わせると、傾かず撮影しやすくなります。

被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

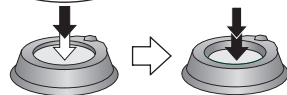
● お願い・ヒント

- **フラッシュ発光時や暗い場所で撮影すると、撮影画像とヒストグラムが一致しないため、ヒストグラムが黄色で表示されます。**
- 動画モード [ ]、マルチ再生、ズーム再生時はヒストグラムは表示されません。
- 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。
- 撮影時のヒストグラムはめやすです。

撮影してみましょう（通常撮影モード ）

- 充電されたバッテリーを入れる。(P18)
  または AC アダプターをつなぐ。(P20)
- カードを入れる。(P22)
- 電源を [ON] にする。
- 通常撮影モード [ ] にする。

1

ピントを合わせたい位置に AF エリアを合わせる

2

ピントを合わせて撮影する

- フォーカス表示が点灯し、シャッタースピードと絞り値が表示されます。

フラッシュ/
アクセスランプ（赤）
動作表示
ランプ（緑）

■ 動作表示ランプについて

点灯

- 電源を [ON] にしたとき

点滅

- フォーカス動作中およびフォーカスが合っていないとき
- カードが入っていないとき
- カードの撮影残り枚数/時間がないとき
- 撮影時、カードがロックされているとき
- バッテリー残量が少なくなったとき（ゆっくり点滅）

■ フラッシュ／アクセスランプについて

点灯

- カードにアクセスしているとき
- フラッシュが発光するとき（シャッター半押しで点灯）
- パソコンにデータを転送中

点滅

- フラッシュを充電しているとき
- フラッシュの設定を発光禁止 [ ] にして、暗い場所でシャッターを半押しするとき（ゆっくり点滅）（手ぶれ警告表示）

■ ピントについて

- 50 cm までピントが合います。
- シャッターボタンを一度に全押しすると、手ぶれをしたり、ピントが合わなかったりします。
- フォーカス表示が点滅しているときはピントが合っていませんので、もう一度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- ピントが合うと「ピピッ」と、合わない場合は「ピピピピッ」と音が鳴ります。操作音を消したいときは 28 ページをお読みください。
- 以下のような場合、通常撮影モードではピントがうまく合いません。
  ❶ 遠くと近くのものを同時に撮る
  ❷ 汚れたガラスの向こうのものを撮る
  ❸ キラキラと光るものが周りにある
  ❹ 暗い場所を撮る
  ❺ 動きの速いものを撮る
  ❻ コントラスト（濃淡）の少ないものを撮る
  ❼ 手ぶれしている
  ❽ 高輝度（非常に明るいもの）を撮る
  置きピン、AF/AE ロック（P36）を使って撮影することをおすすめします。
- フォーカス表示が出てピントが合っても、シャッターボタンを離すとピントが解除されます。もう一度半押ししてください。

■ 露出について

- 適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値の色が赤色になります。
（ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません）

- 液晶モニターの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。特に暗い場所でスローシャッターで撮影するときなどは、液晶モニター上は暗く映りますが、実際は明るく撮れます。
- 晴天の空や雪など、明るい被写体が画像の大半を占めると、暗く撮影される場合があります。その場合は、露出を補正してください。（P41）

■ 手ぶれについて

- 手ぶれしやすいときは、手ぶれ警告表示が出ます。

- 手ぶれ警告表示が出ているときは、三脚の使用をおすすめします。または撮る姿勢（P35）にお気を付けください。
- シャッターボタンを押し込む際に、手ぶれにお気を付けください。

■ 本機の取り扱いについて

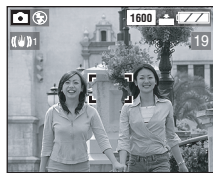
- レンズ面に汚れや、ほこりが付いていないか確認してください。
- レンズ面に直接触れないでください。
- レンズおよびレンズ鏡筒（P14）に衝撃を与えないでください。（取り扱いに気を付けてください）
- 撮影モードで電源を入れるときは、レンズ鏡筒が出ますので、レンズの前に障害物がないところで行ってください。
- レンズの表面をさわったり汚さないようにしてください。汚れたり砂などが付いたときは、市販のブロワーブラシでほこりや砂などを払い、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの溶剤を使用すると、変色や破損の原因となります。
- 浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないように、また海水などでぬらさないようにしてください。

■ 上手に撮る姿勢

手持ちでぶれのない写真を撮影するために

- 両手で本機を軽く持ち、脇をしめて構える
- シャッターボタンを半押ししているとき、ぶれが収まっていることを確認する
- シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定する
  特に以下の場合には、長い間固定してください。
  - 赤目軽減スローシンクロ（P39）
  - 夜景ポートレートモード（P54）

撮影してみましょう（通常撮影モード）（つづき）

■ AF/AE ロックについて

AF：
「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能です。
AE：
「Auto Exposure」の略で、被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能です。

上のような構図で人物の写真を撮影したい場合、被写体が AF エリアから外れているので、そのままシャッターボタンを押すだけでは背景などにピントが合ってしまい、被写体にピントが合いません。
このようなときは、

❶被写体に AF エリアを合わせる
❷シャッターボタンを半押しし、ピントと露出を固定する
• ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。
❸シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に本機を動かす
❹シャッターボタンを全押しする

● AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

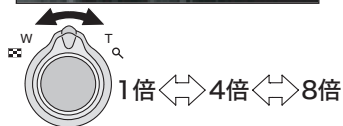
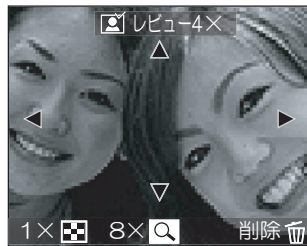
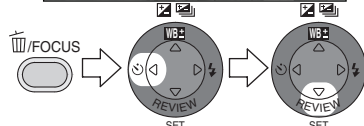
● お願い・ヒント ●

● **ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から「カチッ」と音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。**
このときの音は本機の自動絞り動作によるもので、異常ではありません。
● シャッターボタンを押すと、一瞬液晶モニターの画面が明るくなり、白っぽくなる場合があります。これはピントを合わせやすくするためで、記録される画像に影響はありません。
● 撮影前に、時計設定を確認することをおすすめします。(P25)
● パワーセーブの時間が設定されているとき（P28）は、設定された時間内に本機の操作をしないと自動的に電源が切れます。再び本機の操作をするときは、シャッターボタンを押すか、電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
● エコモードが設定されているとき（P28）、本機の操作をしないと約 15 秒後に液晶モニターが消灯します。（いずれかのボタンを押すと、液晶モニターが点灯します）

撮影した画像を確認する（レビュー）

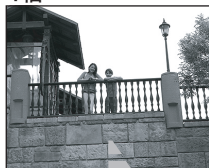
1

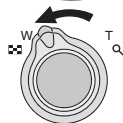
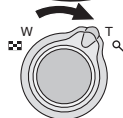
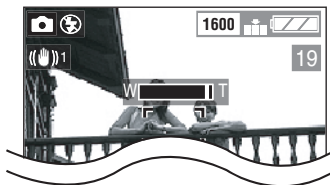
- 最後に撮影した画像が約 10 秒間表示されます。
- シャッターボタンを半押しするか、▼を押すとレビューが解除されます。
- ◀/▶ を押すと前後の画像を確認することができます。
- 撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎたりしたときは、露出補正を行ってください。（P41）

2

■ 撮影した画像をレビュー中に削除する

- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- 複数・全画像削除もできます。削除の方法については 49 、50 ページをお読みください。

大きく（望遠）または広く（広角）撮る

光学ズーム 3 倍までの範囲で、人や物を大きく撮ったり風景などを広角に撮ることができます。

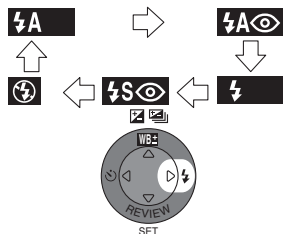
1倍

2倍

3倍

広く（広角）撮る

大きく（望遠）撮る

● お願い・ヒント ●

- 画像はレンズによってわずかにゆがんで撮影されます。
  これをディストーション(歪曲収差)といいます。
  広角にして近づくほどディストーションは大きくなります。

内蔵フラッシュを使って撮る

■ フラッシュ設定を切り換える

項目	設定内容
⚡A： オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
⚡A◉： 赤目軽減オート（白色）	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。そのときフラッシュが予備発光し、人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえます。
	暗い場所で人物を撮影するときなど
⚡： 強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。
	逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなど
⚡S◉： 赤目軽減スローシンクロ（黄色）	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。
	夜景を背景に人物を撮影するときなど
⊘： 発光禁止	暗い場所でもフラッシュが発光しません。
	フラッシュ禁止の場所で撮影するときなど

■ 撮影モード別フラッシュ設定

	⚡A	⚡A◉	⚡	⚡S◉	⊘
📷	○	○	○	○	○
♥	×	○	○	×	○
🌷	○	○	○	○	○
🏃	○	○	○	×	○
⛰	×	×	×	×	○
★👤	×	×	×	○	○
👤	○	○	○	×	○
🎞	×	×	×	×	○

○：設定可
×：設定不可

内蔵フラッシュを使って撮る（つづき）

■ フラッシュで撮影できる範囲

ISO 感度	フラッシュで光が届く範囲
ISO50	40 cm～1.6 m（W端時）/40 cm～1 m（T端時）
ISO100	40 cm～2.4 m（W端時）/40 cm～1.4 m（T端時）
ISO200/AUTO	40 cm～3.3 m（W端時）/40 cm～2 m（T端時）
ISO400（DMC-FX1のみ）	40 cm～4.8 m（W端時）/40 cm～2.8 m（T端時）

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード	
フラッシュ ON	1/60～1/2000（[ISO]、露出補正設定時は除く）	
フラッシュ OFF	手ぶれ補正 [MODE1] [MODE2]	1/8 ～ 1/2000（夜景ポートレート時:8～1/2000）
	手ぶれ補正 [OFF]	1 ～ 1/2000（夜景ポートレート時:8～1/2000）

● お願い・ヒント ●

- 風景モード [ ] または動画モード [ ] のときは、発光禁止 [ ] に固定されます。
- ISOAUTO に設定すると、自動的に ISO 感度を ISO50 ～ ISO200 まで高くしていきます。ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くしてお使いください。

フラッシュ使用時は…

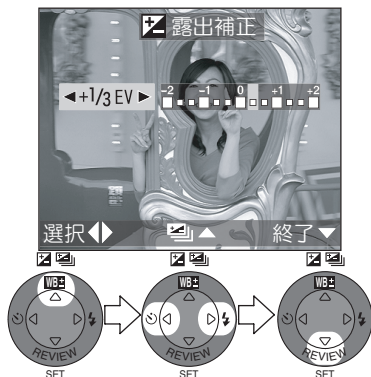
- **至近距離（数 cm）で発光部を直接見ないでください。**
- **フラッシュに物を密着させると熱や光で変形、変色する場合があります。**
- **フラッシュ発光部を指などでふさがないでください。**
- 近くで撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合があります。
- 手ぶれ警告表示が出ているときは、フラッシュの使用をおすすめします。
- 連写およびオートブラケット設定時でフラッシュが発光する場合、1 枚しか撮影できません。
- フラッシュが発光する場合、シャッターボタンを半押ししたときにフラッシュマークが赤に変わります。
- フラッシュ充電中は、フラッシュ / アクセスランプとフラッシュマークが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが（[☀（晴天）] 以外）、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- ノイズが気になるときは、画質調整を [ナチュラル]（P70）にすることをおすすめします。
- ISO感度の設定については64 ページをお読みください。

露出を補正して撮る

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出補正+2EVの場合

露出補正０EVの場合

露出補正–2EVの場合

[露出補正] を選び、露出を補正する

● −2EVから＋2EVの範囲で1/3EVごとに補正できます。

● お願い・ヒント ●

● EVとはExposure Valueの略で、露出量を表す単位です。
絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
● 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
● 露出補正値は、液晶モニターの左下に表示されます。
● 設定した露出補正量は、電源を[OFF]にしても記憶しています。

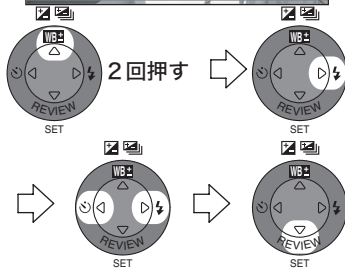
露出を自動的に変えながら撮る（オートブラケット撮影）

1 回シャッターを押すと、露出の補正幅に従って自動的に 3 枚撮影します。
露出が異なる 3 枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット ±1EV の場合

±0 EV

−1 EV

+1 EV

[オートブラケット]を選び、露出の補正幅を決める

- 0（OFF）、±1/3EV、±2/3EV、±1EV から選択できます。
- オートブラケット撮影しない場合は [OFF] を選んでください。

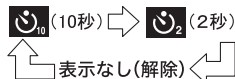
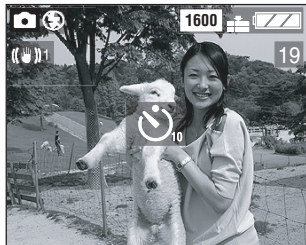
● お願い・ヒント ●

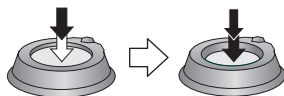
- オートブラケットを設定すると、液晶モニターの左下にオートブラケットアイコンが表示されます。
- 一度撮影すると自動的に解除されます。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面左下に露出補正値が表示されます。
- フラッシュが発光する場合は 1 枚しか撮れません。そのとき、オートブラケットの設定は解除されません。
- オートブラケットを設定すると、音声付き静止画を撮ることができません。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。

セルフタイマーを使って撮る

1

(10秒) ⇨ (2秒)

⇧ 表示なし(解除) ⇦

セルフタイマー設定を切り換える

2

ピントを合わせて撮影する

- セルフタイマー動作中に[MENU]ボタンを押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

● お願い・ヒント ●

- セルフタイマーを 2 秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラぶれを防ぐのに便利です。
- セルフタイマーランプが点滅し、10 秒（または 2 秒）後に撮影動作が開始されます。

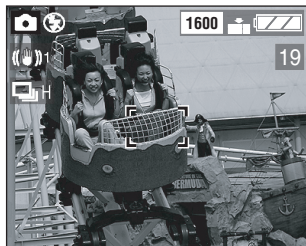
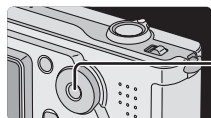
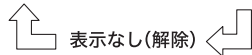
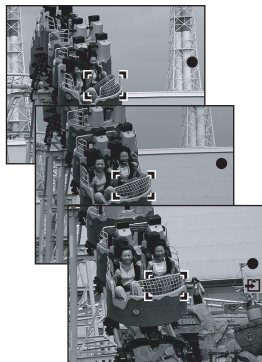
セルフタイマーランプ

- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。
- かんたんモード[♥]のときは、セルフタイマーが 10 秒のみの設定になります。
- 自分撮りモード[ ]のときは、セルフタイマーが 2 秒のみの設定になります。
- 連写のときはセルフタイマーを設定すると 1 枚しか撮影できません。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。

連写にして撮る

1

連写設定を切り換える

2

撮影する

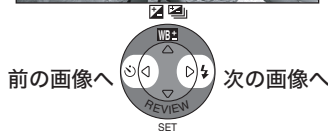
- シャッターボタンを押し続けると連続撮影されます。

● お願い・ヒント ●

■ 連写枚数

		H（高速）	L（低速）
連写速度		4 コマ / 秒	2 コマ / 秒
連写枚数	ファイン	最大 5 コマ	最大 5 コマ
	スタンダード	最大 7コマ/DMC-FX5 8コマ/DMC-FX1	最大 7コマ/DMC-FX5 8コマ/DMC-FX1

- 1 秒に 4 コマ連写できるのは、シャッタースピードが1/60より速く、フラッシュを発光させないときです。
- フラッシュが発光する場合は 1 枚しか撮影できません。
- かんたんモード[♥]のときは、低速に固定されます。（P8）
- 連写設定していると、音声付き静止画を撮影できません。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。

画像を再生する（再生モード [▶]）

画像を送る

- 最後に撮影した画像の次は、最初の画像になります。

■ 早送り / 早戻しする

再生中に ◀/▶ を押し続けると、ファイル番号とページ番号のみが更新されます。再生したい画像の番号が表示されたときに ◀/▶ を離すと、その番号の画像が表示されます。

▶：早送り

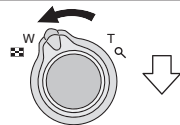
◀：早戻し

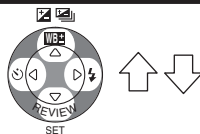
- ◀/▶ を押し続けた時間によって、一度に送る画像枚数が増加します。撮影枚数によって、送り枚数は異なります。
- ◀/▶ を離すと、送り単位はもう一度 1 枚単位から開始します。
- 撮影モード時のレビュー再生や、マルチ再生では、1 枚単位でしか早送り / 早戻しはできません。
- 大きな単位で画像を早送り / 早戻しをしているときは、再生したい画像の手前で一度 ◀/▶ を離すと、小さい単位で早送り / 早戻しができます。

● お願い・ヒント ●

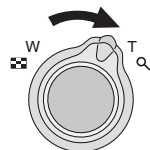
- 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- パソコンでフォルダー名やファイル名を変更すると再生できない場合があります。
- 本機で再生できるファイル形式は JPEG です。（JPEG 形式でも再生できないものもあります）
- 他機で撮影された静止画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 規格外のファイルを再生したときはフォルダー / ファイル番号が [—] で表示され、画面が黒くなる場合があります。

画像を９画面表示にする（マルチ再生）

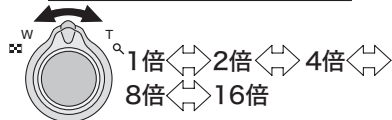
1

9 画面表示にする

2

画像を選ぶ

■ 1 画面表示に戻す

[🔍] の方に回してください。

● 黄色で表示された番号の画像が1画面表示されます。

再生画面を拡大する（再生ズーム）

1

画像を拡大する

2

位置を移動する

■ 再生ズーム中に画像を削除する

[] ボタンを押してください。
確認画面が表示されますので、◀ で [はい] を選び、▼/[REVIEW/SET] ボタンを押してください。(P48)

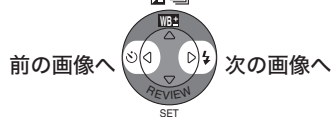
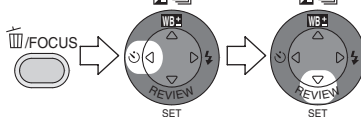
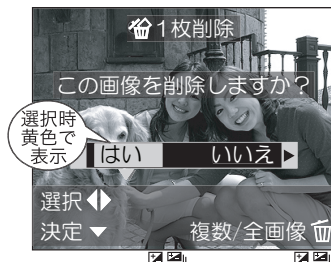
● お願い・ヒント ●

- 再生ズームは、拡大するほど画質が劣化します。
- 他機で撮影した画像を再生ズームできない場合があります。

画像を削除する

1 枚削除

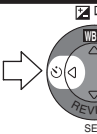
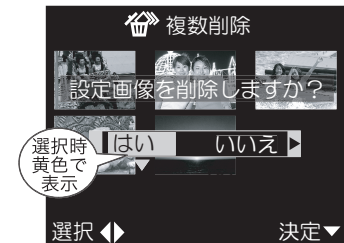
画像を選ぶ

2

削除する

複数削除

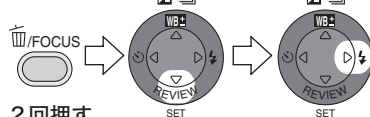
[複数削除] を選ぶ

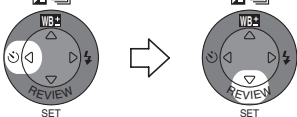
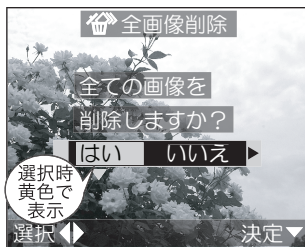
画像を選び、設定する

- 設定した画像に[ ]が表示されます。もう一度 ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- プロテクトされていると、設定した画像の [ ] アイコンが赤く点滅し、画像を削除できません。プロテクト設定を解除しておいてください。(P78)

削除する

- 一度に削除できるのは50枚までです。

画像を削除する（つづき）

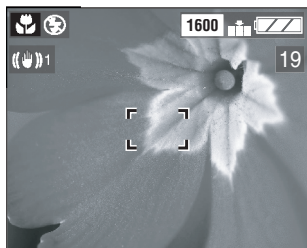
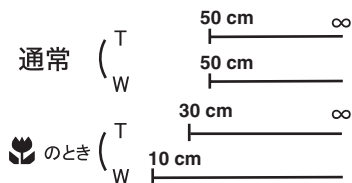
全画像削除

２回押す

［全画像削除］を選ぶ

削除する

● お願い・ヒント ●

- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- プロテクトされた画像（P78）、DCF規格外のファイル（P45）は削除されません。
- 削除中は電源を[OFF]にしたり、カードを抜いたりしないでください。
- バッテリー残量（P17）が少ないときは、AC アダプターの使用をおすすめします。

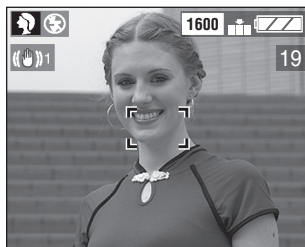
接近して撮る（マクロモード 🌷）

花などをアップにして撮りたいときに合わせてください。
レンズから 10 cm（W 端）まで接近して撮影できます。

● お願い・ヒント ●

- マクロモード時は、三脚の使用をおすすめします。
- 被写体までの距離が撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- マクロモード時、光学ファインダー内は撮影範囲とのずれが生じます。液晶モニターを使用してください。
- フラッシュで撮影できる範囲は、約 40 cm 〜 3.3 m（W 端時）、約 40 cm 〜 2 m（T 端時）（ISO200/AUTO 設定時）です。

人物を撮る（ポートレートモード ）

人物を引き立て、露出と色調が調整されます。

■ ポートレート撮影のテクニック
ズームの位置はできるだけ T 側（望遠）にし、被写体までの距離を近くし、遠くにある背景を選ぶとより効果が出ます。

● お願い・ヒント ●

- 昼間の屋外での撮影に適しています。
- ポートレートモード時のホワイトバランスの [AUTO] 設定は、昼間の屋外での撮影を重視しているため、屋内で使用すると色合いが変わる場合があります。
- ホワイトバランスは、お好みによりメニューで変更することができます。（P59）
- 露出や色調を変更したいときは、露出補正や画質調整を行ってください。

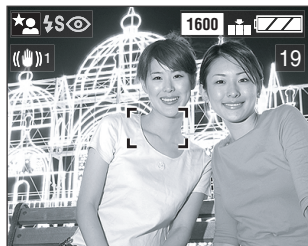
遠くの風景を撮る（風景モード ）

遠くの風景をきれいに撮りたいときに合わせてください。屋外で被写体までの距離が 3 m 以上のときに最適です。窓ガラス越しでも、遠くの風景を撮影することができます。

● お願い・ヒント ●

- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- ピントが合う範囲は、約 3 m ～∞です。
- 風景モード時のホワイトバランスの [AUTO] 設定は昼間の屋外での撮影を重視しているため、屋内で使用すると色合いが変わる場合があります。
- ホワイトバランスはお好みによりメニューで変更することができます。（P59）

夜景を背景に撮る（夜景ポートレートモード[★人]）

夜景を背景に人物などを撮りたいときに合わせてください。
フラッシュとスローシャッターを使うことにより、人物とともに背景も見た目に近い明るさになります。

■ 夜景ポートレートモード時のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード	
[⚡S◉]	手ぶれ補正 [MODE1] [MODE2]	1/8 ～ 1/2000
	手ぶれ補正 [OFF]	1 ～ 1/2000
[⊛]	8 ～ 1/2000	

■ 夜景ポートレート撮影のテクニック

- 手で持って撮影する場合は、手ぶれ補正機能を使って、しっかりと構えて撮影してください。(シャッタースピードは最大 1/8 秒) 手ぶれ補正を [OFF] に設定する場合は、スローシャッター（最大 1 秒）になるため、三脚の使用をおすすめします。
- 撮影後、被写体の人に約 1 秒間は動かないように伝えてください。
- 被写体をフラッシュで撮影できる範囲（約 40 cm ～ 3.3 m（W 端時）、約 40 cm ～ 2 m（T 端時）（ISO200/AUTO 設定時）で撮影してください。
- ズームレバーを W 側に回して撮影することをおすすめします。
- ピントが合う範囲は 1 m ～ 3 m です。

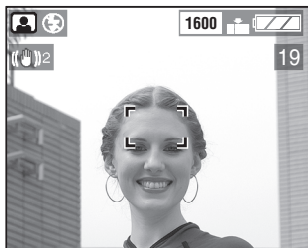
■ 夜景だけを撮影する場合

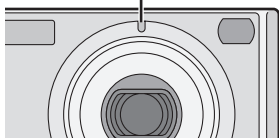
- フラッシュを発光禁止 [⊛] に設定すると、スローシャッター（最大約 8 秒）になり、夜景だけを撮影することができます。
- ピントが合う範囲は 3 m ～∞です。

● お願い・ヒント ●

- フラッシュ設定時は、赤目軽減スローシンクロ [⚡S◉] に固定されます。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約 8 秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- ホワイトバランスはお好みによりメニューで変更することができます。（P59）
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、画質調整を [ナチュラル]（P70）にすることをおすすめします。
- 暗い場面で撮影すると、ピントが合いにくくなることがあります。なるべく明るく、コントラスト（濃淡）のあるところで AF/AE ロック（P36）を使って撮影することをおすすめします。

自分を撮る（自分撮りモード[アイコン]）

対面撮影で、自分を撮りたいときに合わせてください。

■ 自分撮り撮影のテクニック

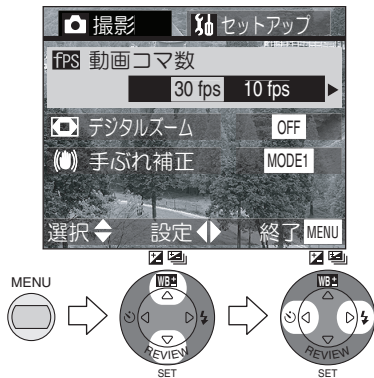
- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと、セルフタイマーランプが点灯します。手ぶれしないようにしっかりと構えてシャッターボタンを全押ししてください。

- 撮影後は自動的にレビューされます。削除など、レビュー時の操作については37ページをお読みください。
- シャッタースピードが遅くなり、手ぶれしやすいときは、2 秒セルフタイマーの使用をおすすめします。（P43）

● お願い・ヒント ●

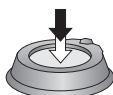
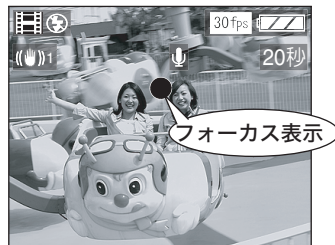
- ピントが合う範囲は約30 cm～70 cmです。ピントが合う範囲から外れると、フォーカス表示が点灯してもピントが合っていない場合があります。
- 音声付きで自分撮りする場合も、音声記録中にセルフタイマーランプが点灯します。
- モードダイヤルを [[アイコン]] に合わせると、ズームは自動的に W 端の位置へ移動します。
- セルフタイマーは[OFF]または[2秒]のみの設定です。（P43）[2 秒] に設定すると、電源を [OFF] にするかモードダイヤルを切り換えるまでセルフタイマーの [2 秒] 設定は保持されます。
- 手ぶれ補正は [MODE2] に固定されます。（P71）
- スポットモードは設定できません。

動画を撮る（動画モード）

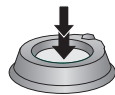
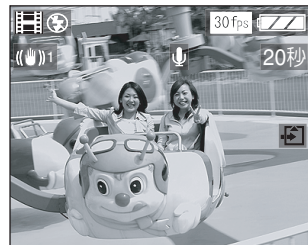
音声付き動画を撮りたいときに合わせてください。

1

[動画コマ数] を選び、設定する

- [30fps]：動画をよりなめらかに撮影することができます。
- [10fps]：なめらかさには欠けますが、ファイルサイズが小さいので長時間撮影することができます。
- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

2

シャッターボタンを半押しする

- ピントが合うと、フォーカス表示が画面に点灯します。

3

撮影を開始する

- 本機の内蔵マイクより、音声も同時に記録されます。
- もう一度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。
- 記録途中でカードのメモリーがいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

■ 撮影可能時間

	動画コマ数	
SD メモリーカード容量	10 fps	30 fps
16 MB	約 75 秒	約 25 秒
32 MB	約 160 秒	約 55 秒
64 MB	約 350 秒	約 120 秒
128 MB	約 720 秒	約 240 秒
256 MB	約 1450 秒	約 480 秒
512 MB	約 2950 秒	約 1020 秒

●残り撮影時間が液晶モニターに表示されます。
●撮影可能時間はめやすです。

● お願い・ヒント ●

- 記録画素数は 320×240 画素に固定されます。
- 液晶モニターに表示される残り時間はめやすです。
- 音声なしで動画を記録することはできません。
- マルチメディアカードを使う場合、動画記録後、フラッシュ/アクセスランプとカードアクセス表示がしばらく点灯する場合がありますが、異常ではありません。
- オートフォーカス/ズーム/絞り値は、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- カードの種類によっては、動画撮影のときに途中で撮影が終了する場合があります。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質、音質が劣化したり、再生できない場合があります。
- [30 fps] に対応していない機種では、[30 fps] で撮影された動画は再生できません。
- 動画モード [] のときは、レビューが使えません。
- 手ぶれ補正は [MODE1] のみ設定できます。

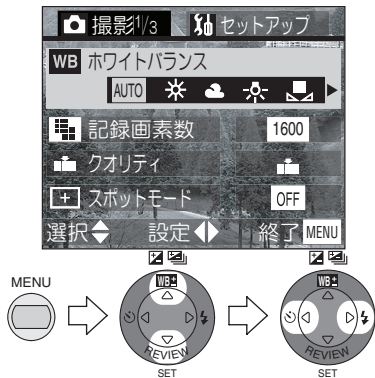
撮影モード別設定可能機能一覧

									参照ページ
セルフタイマー	○	○ (10 秒のみ)	○	○	○	○	○ (2 秒のみ)	×	P43
連写	○	低速固定	○	○	○	○	○	×	P44
露出補正	○	×	○	○	○	○	○	×	P41
オートブラケット	○	×	○	○	○	○	○	×	P42
ホワイトバランス	○	AUTO 固定	○	○	○	○	○	AUTO 固定	P59
記録画素数	○	画質設定	○	○	○	○	○	320×240 画素 固定	P62
クオリティ (圧縮率)	○	画質設定	○	○	○	○	○	×	P62
スポットモード	○	×	○	○	○	○	×	×	P63
ISO 感度	○	AUTO 固定	○	○	○	○	○	AUTO 固定	P64
音声記録	○	×	○	○	○	○	○	ON 固定	P65
AF 駆動	○	シャッター 固定	○	○	○	○	シャッター 固定	×	P66
デジタルズーム	○	×	○	○	○	○	○	○	P68
カラーエフェクト	○	×	○	○	○	○	○	×	P69
画質調整	○	×	○	○	○	○	○	×	P70
手ぶれ補正	○	MODE2 固定	○	○	○	○	MODE2 固定	MODE1 と OFF	P71
コマ撮りアニメ	○	×	○	○	○	○	○	×	P72

○：設定可
×：設定不可

自然な色合いに調整する（ホワイトバランス WB）

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、見た目に近い白色に調整します。

1

[ホワイトバランス] を選び、設定する

- 右表から選んでください。
- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

項目	撮影状況
AUTO（オート）	自動で設定するとき
☀（晴天）	屋外晴天下で撮影するとき
☁（曇り）	曇天や日陰で撮影するとき
白熱灯マーク（白熱灯）	白熱灯下で撮影するとき
セットモードマーク（セットモード）	手動で設定するとき（詳しい設定方法については次のページをお読みください）

● お願い・ヒント ●

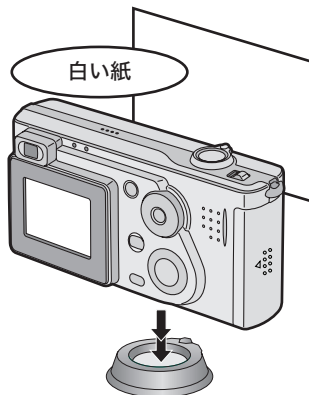
- [AUTO] 以外に設定すると、ホワイトバランスを微調整することができます。（P61）
- ホワイトバランスの設定は、他の撮影モードにも反映されます。
- かんたんモード[♥]または動画モード [動画マーク] のときは、[AUTO] に固定されます。
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが（[☀（晴天）] 以外）、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。

手動でホワイトバランスを調整する（ ）

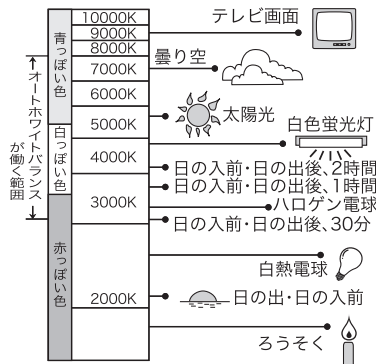
1

［ ホワイトバランス ］を選び、［ ］に設定する

（新しくホワイトバランスを設定したいときのみ）
▶ を押す

2

白い紙などに本機を向けて、画面全体が白くなるようにし、シャッターボタンを全押しする

● 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

オートホワイトバランスが働く範囲は、下図のとおりです。範囲外での撮影では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを [AUTO] 以外に設定して、調整してください。

ホワイトバランスを微調整する（WB±）

複数の光源が混在している場合など、ホワイトバランスを設定しても思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

•ホワイトバランスを / / / に設定しておく。（P59）

1

[WB± WB 微調整] が表示されるまで ▲ を押す

2

ホワイトバランスを微調整する

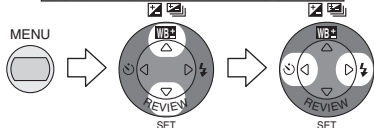
- ▶：青（赤みが強い場合）
- ◀：赤（青みが強い場合）

- 設定終了後、▼/[REVIEW/SET] ボタンを押して終了します。

お願い・ヒント

- ホワイトバランスを微調整すると、ホワイトバランスアイコンが赤、または青に変わります。
- ホワイトバランスの各モードで独立して微調整することができます。
- セットモードで新しくホワイトバランスを設定し直したときは、微調整レベルは [0] に戻ります。

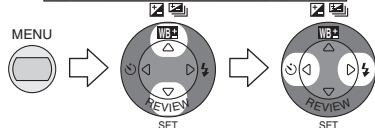
画質と記録枚数を変える（記録画素数 / クオリティ ）

記録画素数

[記録画素数] を選び、設定する

- [2304]： 2304×1728画素（DMC-FX5）
- [2048]： 2048×1536画素（DMC-FX1）
- [1600]： 1600×1200 画素
- [1280]： 1280× 960 画素
- [640] ： 640× 480 画素
- [HDTV]：1920×1080 画素

- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

※画面イラストは DMC-FX5 です。

クオリティ

[クオリティ] を選び、設定する

- ：ファイン（低圧縮）
  画質を優先し、高画質に記録します。
- ：スタンダード（高圧縮）
  撮影枚数を優先し、画質は標準で記録します。
- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

お願い・ヒント

- 記録画素数は、動画のときは、320×240 画素に固定されます。
- 小さい記録画素数（640×480 画素）を選ぶと、1 枚のカードにより多く記録できます。また、データ容量が小さいので、電子メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに有効です。
- 大きい記録画素数（2304×1728 画素：DMC-FX5、2048×1536 画素：DMC-FX1）を選ぶと、鮮明にプリントすることができます。
- HDTV については 101 、132 ページをお読みください。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- 被写体により記録枚数は変動します。
- 液晶モニターに表示される残り枚数は撮影された枚数分、減少しない場合があります。
- 記録枚数については133 ページをお読みください。

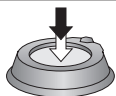
スポットモードを使う ([+])

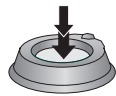
限られた範囲内にピントと露出を合わせることができます。
明暗差の大きい被写体の一部を際立たせたい場合などに有効です。

1

[スポットモード] を選び、[ON] に設定する

- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

2

撮影したい被写体にスポットAF エリアを合わせて、シャッターボタンを半押しし、AF/AE ロックをする

3

シャッターボタンを半押ししたまま、構図を決めて撮影する

- より限られた範囲で、最適な AF/AE を設定することができます。

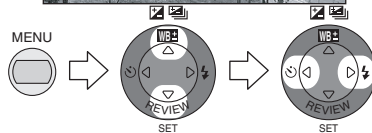
お願い・ヒント

- 被写体が暗いときは、ピントが通常より合いにくい場合があります。
- スポット AF エリアでの最適な露出に設定されますので、被写体によっては周りが暗く映ったり、逆に白っぽくなる場合があります。

ISO 感度を設定する（ISO）

暗い場所での撮影にフラッシュを使用できないときは ISO 感度を高くしてください。

ISO 感度とは、光に対する敏感さを数値で表したもので、数値が高くなるほど、暗い場所での撮影に適しています。

ISO 感度	50 ⟷ 200 (DMC-FX5) 50 ⟷ 400 (DMC-FX1)
屋外など明るい場所での撮影	適している　　適していない
暗い場所での撮影	適していない　　適している
シャッタースピード	遅くなる　　速くなる
ノイズ	少ない　　多い

[ISO 感度] を選び、設定する

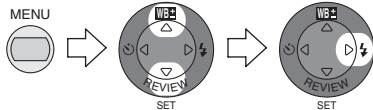
- [AUTO]を選ぶと明るさに応じてISO感度を ISO50 ～ ISO200 まで自動的に高くしていきます。(フラッシュ使用時は ISO100 ～ ISO200)
- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

※画面イラストは DMC-FX5 です。

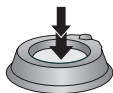
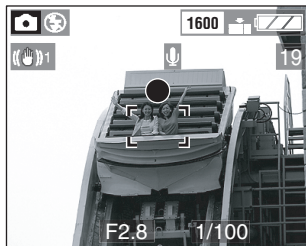
● お願い・ヒント ●

- かんたんモード[♥]または動画モード [🎞] のときは、[AUTO] に固定されます。
- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、画質調整を [ナチュラル]（P70）にすることをおすすめします。

音声付き静止画を撮る ()

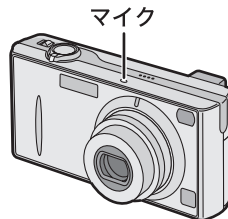
1

[音声記録] を選び、[ON] に設定する

● 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

2

撮影する

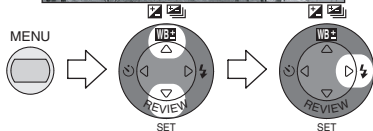
● 5 秒間録音後、自動的に終了します。
● 録音中に [MENU] ボタンを押すと解除されます。音声は記録されません。

● お願い・ヒント ●

● シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
● 音声は本機の内蔵マイクより録音されます。

● オートブラケット、連写のときは、音声付き静止画を撮ることができません。

置きピンをする（AF 駆動 ➡AF）

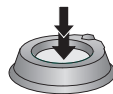
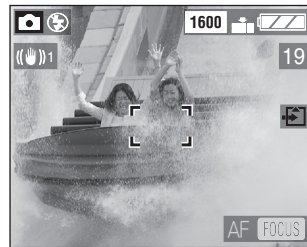
動きの速い被写体の撮影時に、あらかじめ撮影ポイントにピントを合わせておくテクニックです。
運動会でゴールしてくる子供、結婚式での新郎新婦など、被写体との距離が決まっている場合の撮影に最適です。

1

[AF 駆動] を選び、[FOCUS] を選ぶ

- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

2

ピントを合わせたいポイントに AF エリアを合わせ（P32）、[FOCUS] ボタンを押す

- ピントが合うと約1秒間フォーカス表示が点灯します。
- もう一度[FOCUS]ボタンを押すまで、シャッターボタンを半押ししてもピントは変わりません。

撮影する

● お願い・ヒント ●

- AF 駆動で [FOCUS] に設定したときは、シャッターボタンを半押ししてもピントは合いません。必ず、[FOCUS] ボタンを押してピントを合わせてから撮影してください。
- 通常の撮影をするときは [シャッター] に設定してください。
- かんたんモード [♥] または自分撮りモード [ ] のときは、[シャッター] に固定されます。

さらに拡大して撮る（デジタルズーム ）

光学 3 倍、デジタル 3 倍の最大 9 倍まで拡大が可能になります。

3倍

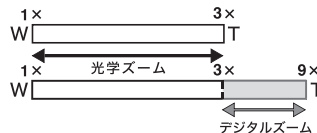
6倍

9倍

[デジタルズーム] を選び、[ON] に設定する

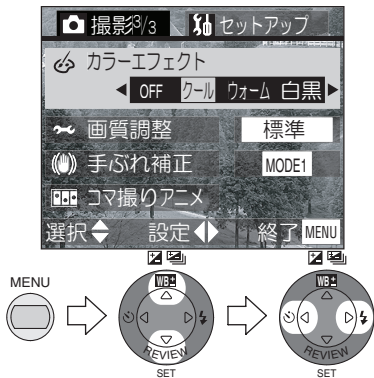
- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。
- デジタルズームを [ON] にしてズームレバーを回すと、デジタルズーム表示が出ます。（P113）

■ デジタルズーム領域に入る

- 光学ズームの最も望遠側まで拡大すると、一度ズーム位置表示のバーが停止します。その状態でズームレバーを T 側に回し続けるか、一度ズームレバーを離してもう一度T側にズームレバーを回すと、デジタルズーム領域に入ることができます。

- デジタルズームは拡大するほど画質が劣化します。
- デジタルズーム領域では、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズーム使用時は三脚の使用をおすすめします。
- 液晶モニターが消灯しているときはデジタルズームは解除されます。

カラーエフェクトを設定する（）

3 種類の色彩効果が得られます。撮影イメージに合わせて使い分けてください。

1

[カラーエフェクト] を選び、設定する

- クール：　青っぽい画像になります。
- ウォーム：　赤っぽい画像になります。
- 白黒：　白黒画像になります。
- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

2

撮影する

● お願い・ヒント ●

- [クール] は冬の冷たいイメージなどを表現したいとき、[ウォーム] は暖かみのあるイメージを表現したいときに有効です。

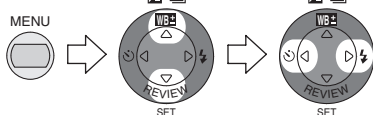
撮影する画像の画質を調整する（画質調整 ）

[画質調整] を選び、設定する

- ナチュラル：より柔らかいイメージの画像になります。
- ヴィヴィッド：よりくっきりとしたイメージの画像になります。
- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

● お願い・ヒント ●

- かんたんモード[♥]または動画モード [ ] のときは、画質を調整できません。
- 暗い場面で撮影するとき、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、画質調整を [ナチュラル] にすることをおすすめします。

手ぶれ補正機能を使う（((✋))）

[手ぶれ補正] を選び、設定する

- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

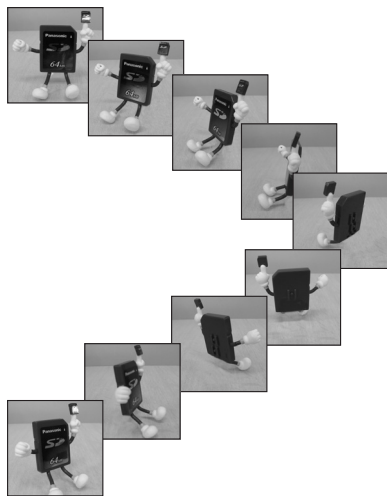
- [OFF] ((✋))OFF ：
  意図的にぶれのある画像を撮影したいときなどに設定します。
- [MODE1] ((✋))1 ：
  撮影モード時、常時手ぶれを補正します。望遠などで構図を決めて撮影するときに、安定して撮ることができます。
- [MODE2] ((✋))2 ：
  シャッターが切れる瞬間のみ手ぶれを補正します。より高い補正効果が得られます。

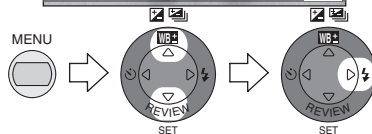
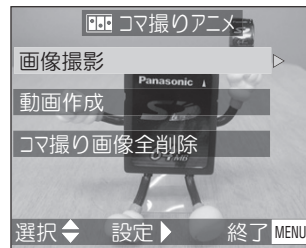
● お願い・ヒント ●

- [MODE2]設定時、電源を[ON]にした直後、手ぶれ補正安定化のためにしばらく手ぶれ補正のアイコンが黄色になります。
- 黄色表示の間は、本機に強い衝撃を与えると黄色表示が長くなる場合があります。
- 黄色表示の間は、手ぶれ補正の効果が十分に得られない場合があります。
- 黄色表示の間は、液晶モニターの画像も手ぶれ補正されます。([MODE1]と同じ状態)
- 以下の場合、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
  - 手ぶれが大きいとき
  - デジタルズーム領域
  - 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - 夜景撮影など、シャッタースピードが極端に遅くなる場合
- 手ぶれについては 34 ページをお読みください。
- かんたんモード [♥] または自分撮りモード [👤] のときは [MODE2] に固定されます。

コマ撮りで動画を作成する（コマ撮りアニメ ）

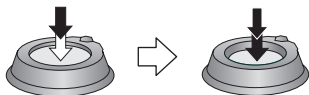
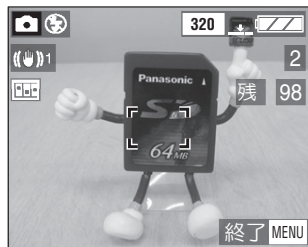
本機では、コマ撮りした画像をつなげて、最長約 20 秒の動画ファイルを作成することができます。

たとえば…
人形などを少しずつ動かすごとに撮影して

つなぎ合わせると動いているように見えます。

画像撮影

[コマ撮りアニメ] を選ぶ

[画像撮影] を選ぶ

動画作成

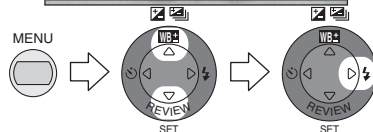
3

撮影する

- 100 枚まで撮影できます。

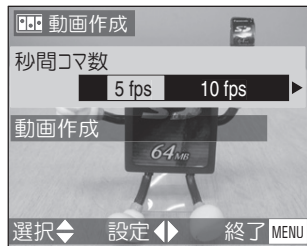
4

画像を確認する

- ◀/▶ を押すと前後の画像を確認することができます。
- 不要な画像は [🗑] ボタンで削除してください。

5

[動画作成] を選ぶ

コマ撮りで動画を作成する（コマ撮りアニメ）（つづき）

6

[秒間コマ数] を選び、設定する

- 5 fps：　5 コマ / 秒
- 10 fps：　10 コマ / 秒（よりなめらかな動画になります）

7

[動画作成] を選び、コマ撮りアニメを作成する

- 動画作成をすると、ファイル番号が1 秒間表示されます。
- コマ撮りアニメはすでに作成された画像も含めて1 つのアニメになります。
- 作成終了後、[MENU]ボタンを3回押してメニューを終了します。

■ 作成したコマ撮りアニメを見る

再生する方法は、動画を再生するときと同じです。（P76）

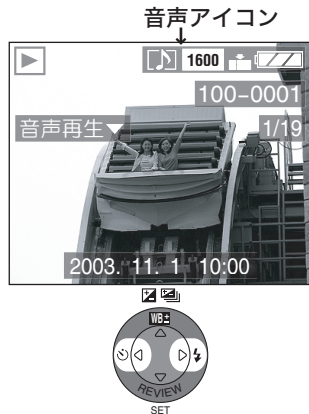
■ コマ撮りアニメ用静止画像をすべて削除する

コマ撮りアニメ画面で[コマ撮り画像全削除]を選ぶと確認画面が表示されます。[はい]を選び、▼/[REVIEW/SET]ボタンを押してください。

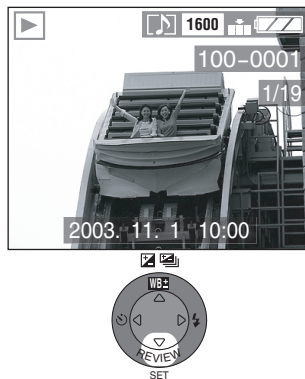
● お願い・ヒント ●

- コマ撮りアニメは動画ファイルとして作成されます。（拡張子 .MOV）
- 記録画素数は320×240画素になります。
- 音声付き静止画、連写、オートブラケットは使えません。
- 各コマの画像は通常のレビュー（P37）では表示されません。
- 他機では再生できない場合があります。
- [5 fps]に対応していない機種では、[5 fps]で撮影されたコマ撮りアニメは再生できません。
- 音声は記録されませんが、他機で再生したとき、ミュート機能のない機種ではノイズが出る場合があります。
- 残量枚数はめやすです。

音声付き画像を再生する

1

音声アイコン

音声アイコン [♪] が付いた画像を選ぶ

2

音声を再生する

- スピーカーから音声が聞こえます。
- スピーカーの音量調整については29 ページをお読みください。

● お願い・ヒント

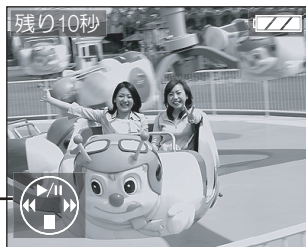
- 音声付き画像はリサイズ（P96）、トリミング（P98）できません。

動画を再生する

1

動画アイコン

動画アイコン [▤] が付いた画像を選ぶ

2

▲/▼/◀/▶
に対応しています

動画を再生する

- 動画再生中に ▼ を押すと停止し、通常の再生画面に戻ります。

■ 早送り / 早戻しする

動画再生中に ◀/▶ を押し続ける

▶：早送り

◀：早戻し

- ボタンを離すと、通常の動画再生に戻ります。

■ 一時停止する

動画再生中に ▲ を押す

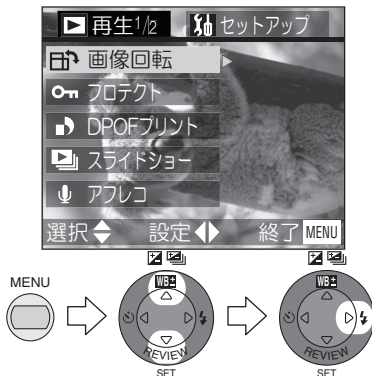
- もう一度 ▲ を押すと一時停止が解除されます。
- スピーカーの音量調整については 29 ページをお読みください。

● お願い・ヒント ●

- 動画再生中や一時停止中は、ズームできません。
- 本機で再生できるファイル形式は QuickTime Motion JPEG です。
- パソコンや他機で記録されたQuickTime Motion JPEG ファイルは、本機で再生できない場合があります。
- 他機で撮影された動画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。

画像を回転する ()

撮影した画像を 90° ごとに回転表示させることができます。
テレビで再生するときなどに便利です。

1

[画像回転] を選ぶ

2

回転方向を設定する

↶	反時計回りに 90° ごとに回転します。
↷	時計回りに 90° ごとに回転します。

- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

■ 画像回転の例

時計回り(↷)の場合

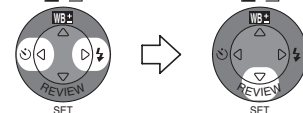
● お願い・ヒント ●

- 通常再生での静止画のみ回転できます。回転された画像をズーム再生やマルチ再生で再生した場合は、撮影時の角度の画像で表示されます。
- 画像を回転させると、撮影日時は回転させた日時に変更されます。
- プロテクトされている画像は回転できません。
- パソコンで再生するとき、Exif に対応した OS またはソフトウェアでないと、回転された画像を表示することはできません。
- Exif とは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです。

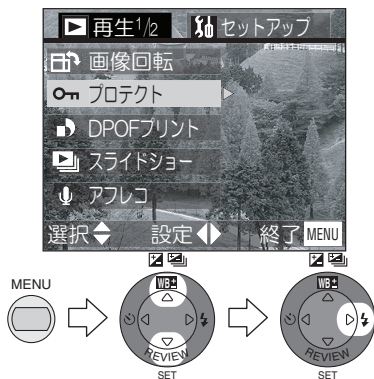
画像の誤消去を防止する（プロテクト ）

1 枚設定 / 解除

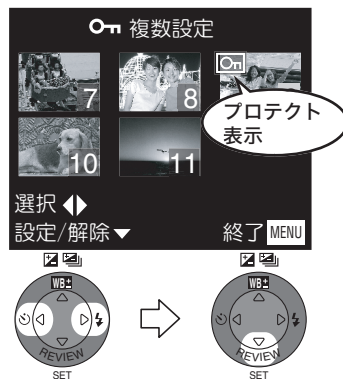
[プロテクト] を選ぶ

[1 枚設定] を選ぶ

画像を選び、設定 / 解除する

- 設定：　プロテクト表示が出ます。
- 解除：　プロテクト表示が消えます。

- 設定 / 解除終了後、[MENU] ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

複数設定 / 解除

[プロテクト] を選ぶ

[複数設定] を選ぶ

画像を選び、設定 / 解除する

- 設定： プロテクト表示が出ます。
- 解除： プロテクト表示が消えます。

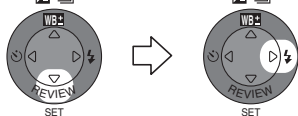
- 3 を繰り返します。
- 設定 / 解除終了後、[MENU] ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

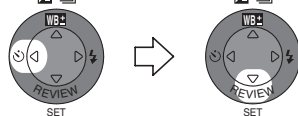
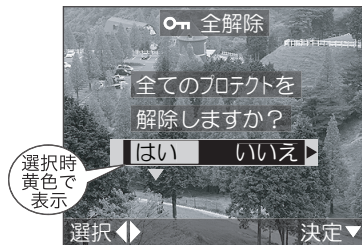
画像の誤消去を防止する（プロテクト）（つづき）

全解除

1

[プロテクト] を選ぶ

2

[全解除] を選ぶ

3

[はい] を選び、すべてのプロテクト設定を解除する

- 解除終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

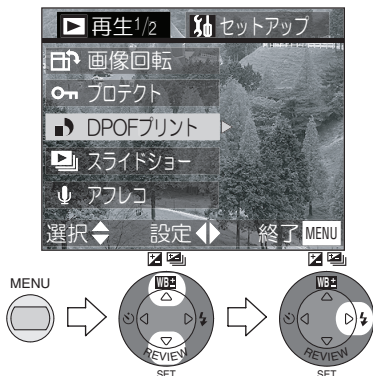
● お願い・ヒント ●

- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は削除されます。(P100)
- プロテクトされた画像は削除できません。ファイルを削除したいときは、プロテクト設定を解除してください。
- プロテクト設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気を付けください。
- プロテクト設定をしていなくても、SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを [LOCK] 側にしておくと、画像の削除はできません。

- プロテクトされている画像にはアフレコはできません。(P90)

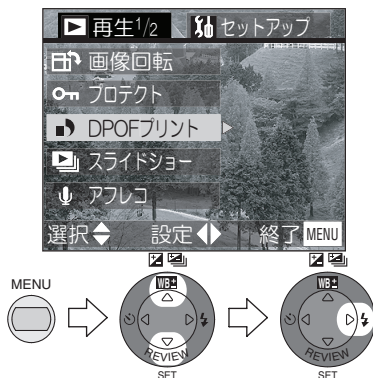
プリントしたい画像と枚数を設定する（DPOF プリント ）

DPOF プリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに画像や枚数を指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。

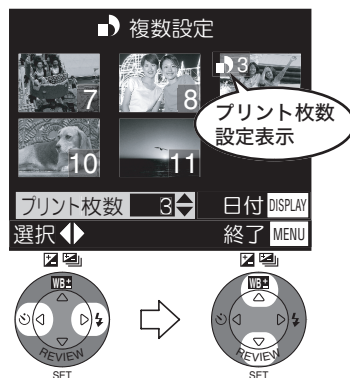
1 枚設定 / 解除

[DPOF プリント] を選ぶ

[1 枚設定] を選ぶ

画像を選び、プリント枚数を設定する

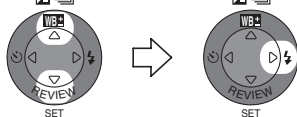
- プリント枚数は0～999 枚まで設定できます。
- このとき、プリント枚数を0にすると、DPOF プリント設定が解除されます。
- 設定 / 解除終了後、[MENU] ボタンを2 回押してメニューを終了します。

複数設定 / 解除

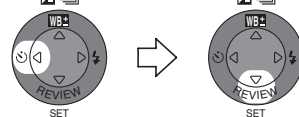
[DPOF プリント] を選ぶ

[複数設定] を選ぶ

画像を選び、プリント枚数を設定する

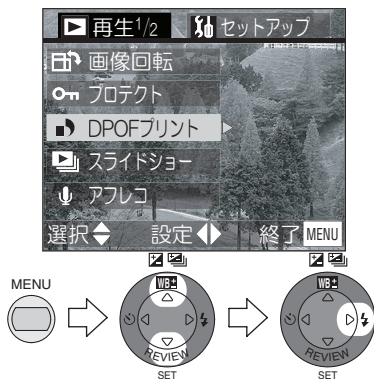
- 3 を繰り返します。
- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。
- このとき、プリント枚数を0にすると、DPOF プリント設定が解除されます。
- 設定 / 解除終了後、[MENU] ボタンを2回押してメニューを終了します。

プリントしたい画像と枚数を設定する(DPOFプリント)(つづき)

全解除

[DPOF プリント] を選ぶ

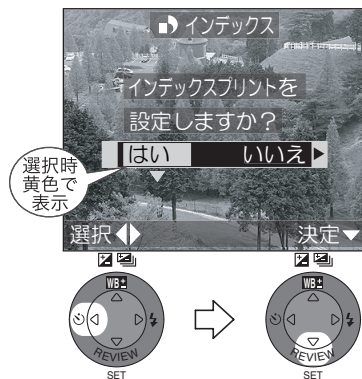
[全解除] を選ぶ

[はい] を選び、すべての DPOF プリント設定を解除する

● 解除終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

インデックス設定 / 解除

[DPOF プリント] を選ぶ

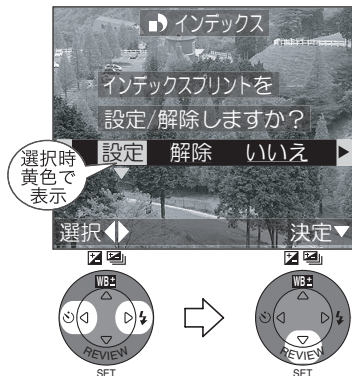
2

[インデックス] を選ぶ

3

[はい] を選び、設定する

- 設定終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

プリントしたい画像と枚数を設定する(DPOFプリント)(つづき)

■ すでにインデックスが設定されている場合は…

● 設定/解除終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時に [DISPLAY] ボタンを押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

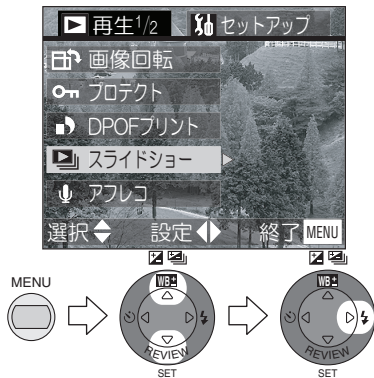
● お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることを別途指定してください。
● 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付をプリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの取扱説明書をお読みください。

● お願い・ヒント ●

■ DPOF について

● DPOF プリント設定すると DPOF プリント対応のプリンターで出力するときにも便利です。
● DPOF とは Digital Print Order Format の略です。DPOF 対応のシステムで活用できるようにカードの画像にプリント情報などを書き込むことができるようにしたものです。
● DPOF プリントの設定はスライドショーの DPOF 設定には反映されません。
● DCF 規格に準拠してないファイルは DPOF プリント設定できません。(DCF とは Design rule for Camera File system の略で、(社) 電子情報技術産業協会のファイルシステム規格に準拠した記録方式です)
● 本機で DPOF プリント設定すると、他機種で設定された DPOF 情報はすべて解除され、本機の DPOF 設定が上書きされます。

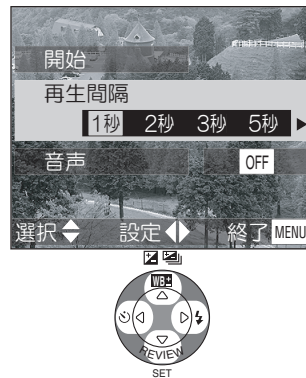
スライドショーを見る（▣）

1

[スライドショー] を選ぶ

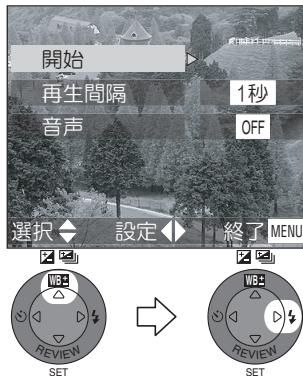
2

スライドショーで表示させる画像の種類を選ぶ

- 全画像：　すべての画像を表示します。
- DPOF：　DPOF スライドショー設定した画像を表示します。

3

スライドショーの設定をする

スライドショーを見る（つづき）

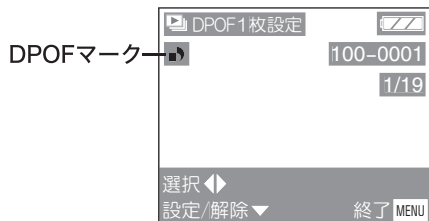
再生間隔：	1、2、3、5 秒の中から設定できます。
音声：	[ON] を選ぶと、スライドショー中に音声付き静止画の音声が再生されます。
DPOF 設定：	（2 で [DPOF] を選んだときのみ）： スライドショーで表示させたい画像を選ぶことができます。
全解除：	（2 で [DPOF] を選んだときのみ）： DPOF スライドショー設定を解除できます。

[開始] を選ぶ

- [MENU]ボタンを押すと終了します。

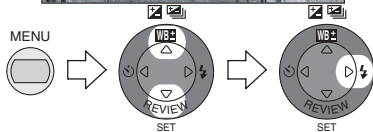
■ SD スライドショーについて

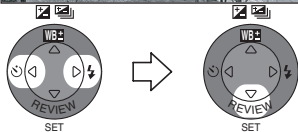
CD-ROM（付属）のソフトウェア [SD Viewer for DSC] で編集された SD スライドショーのデータが記録されているカードを本機に入れ、再生モードで電源を入れると確認画面が表示されます。[はい] を選んで ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押すと、SD スライドショーが始まります。通常再生にするときは[いいえ]を選んで▼/[REVIEW/SET]ボタンを押してください。

● お願い・ヒント ●

- DPOF スライドショー設定を行うと、DPOF マークが緑色で表示されます。
- DPOF プリントが設定されている画像に DPOF スライドショー設定を行うと、DPOF マークとプリント枚数が緑色で表示されます。
- DPOF プリントのみが設定されている場合は、DPOF マークとプリント枚数が白色で表示されます。

- スライドショーで動画再生はできません。
- スライドショーの DPOF 設定は、DPOF プリントの設定には反映されません。
- DPOF 設定しないで DPOF スライドショーはできません。
- CD-ROM（付属）のソフトウェア [SD Viewer for DSC] で DPOF 設定された画像は、本機では DPOF スライドショーできません。DPOF スライドショー設定は本機で行ってください。
- 本機で DPOF スライドショー設定すると、他機種で設定された DPOF 情報はすべて解除され、本機の DPOF 設定が上書きされます。

撮影したあとに音声を入れる（アフレコ 🎙）

1

[アフレコ] を選ぶ

2

画像を選び、録音を開始する

- すでに音声が入っている場合、確認画面が表示されます。◀ で [はい] を選び、▼/[REVIEW/SET] ボタンを押して録音を開始してください。（元の音声はなくなります）
- 動画や、プロテクトされた画像にはアフレコすることはできません。

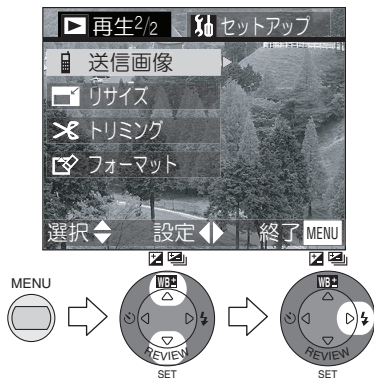
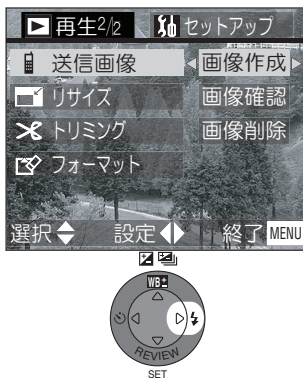
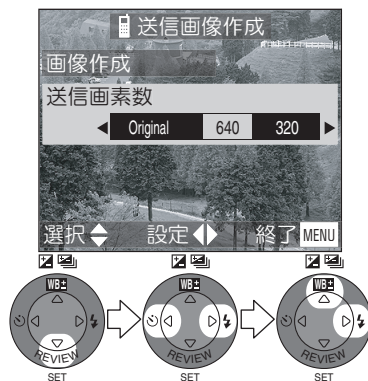
3

録音を終了する

- ▼/[REVIEW/SET] ボタンを押さなくても、約 10 秒間録音すると、自動的に終了します。
- 終了後、[MENU]ボタンを2回押してメニューを終了します。

携帯電話に添付する画像を作成する（送信画像 ）

SD メモリーカードスロット付きの携帯電話 /feel H”(H”) に送信画像の入った SD メモリーカードを挿入すると、携帯電話 /feel H”(H”) に画像を添付することができます。

画像作成

[送信画像] を選ぶ

[画像作成] を選ぶ

[送信画素数] を設定し、[画像作成] を選ぶ

- 送信画素数を[640]または[320]に設定すると、選んだ画像を元に、それぞれ[640×480] または [320×240] にリサイズされた画像を作成します。
- [Original]に設定すると、選んだ画像がそのまま送信されるように設定されます。

画像を選び、設定する

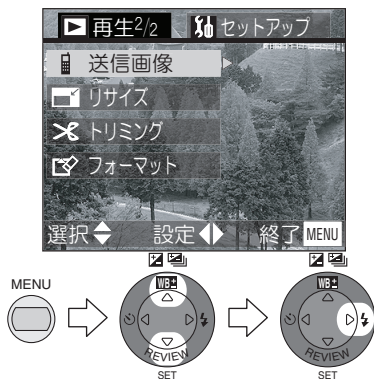
必要枚数分繰り返して設定する

- ファイルサイズが合計2 MB（約2000 KB）を超えない枚数まで設定できます。（カードの残量によります）
- [🗑] ボタンを押すと、作成された画像を削除できます。（[Original] に設定された画像は、設定が解除されます）

MENU

終了する

- 作成された画像が順番に表示されます。

画像確認

[送信画像] を選ぶ

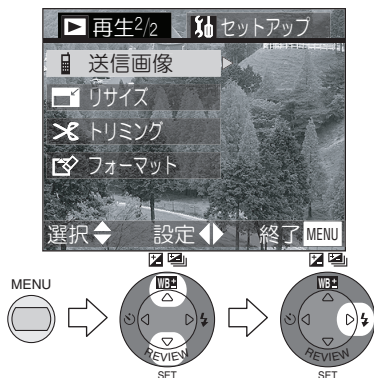
[画像確認] を選ぶ

画像を選び、確認する

- [🗑] ボタンを押すと、作成された画像を削除できます。([Original] に設定された画像は、設定が解除されます)

携帯電話に添付する画像を作成する（送信画像）（つづき）

画像削除（一括削除）

1

[送信画像] を選ぶ

2

[画像削除] を選ぶ

3

[はい] を選び、削除する

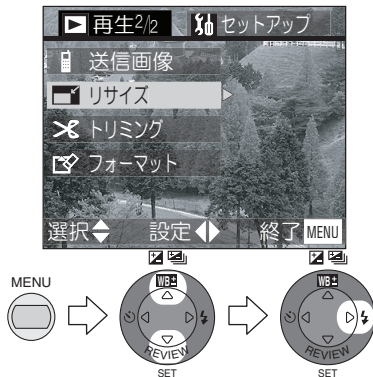
- 送信フォルダー内のすべての画像が削除されます。([Original] に設定された画像は、設定が解除されます)
- 画像を1枚ずつ削除するには、画像確認中に削除してください。（P93）
- 削除終了後、[MENU] ボタンを押してメニューを終了します。

● お願い・ヒント ●

- この機能を使うとDPOF自動送信ファイル（AUTXFER.MRK）が SD メモリーカードに保存されます。
  携帯電話 /feel H”(H”) の DPOF 機能によりファイル内の画像が自動的に選択され、簡単にメールに添付することができます。
  SD メモリーカードスロット付きの下記の機種で使用できます。
  - KX-HS100
  - KX-HF300
  - KX-HS110
  - KX-HV50
  - KX-HV200
  - KX-HV210（2003 年 11 月現在）
- 以下の画像は送信画像を作成できません。
  - 記録画素数が [HDTV] で撮影された画像
  - 動画
  - コマ撮りアニメ
  - 音声付き画像
- 他機で撮影した画像から送信画像を作成できない場合があります。
- [Original]で作成した場合、元の画像がプロテクトされている場合は、送信画像を削除できません。
- [Original]で作成した場合、元の画像を削除すると設定が解除されます。
- 画像送信前に、画像を確認してください。

画像のサイズを小さくする (リサイズ)

E メール添付やホームページ用に撮影した画像の容量を小さくしたいときなどに使います。

1

[リサイズ] を選ぶ

2

画像を選び、設定する

3

サイズを選び、設定する

- [1600]：1600 × 1200 画素
- [1280]：1280 × 960 画素
- [640] ： 640 × 480 画素

4

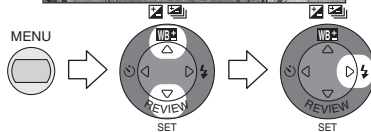
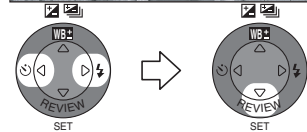
[はい] または [いいえ] を選び、設定する

- [はい]を選ぶと画像が上書きされます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。
- リサイズ終了後、[MENU] ボタンを 2 回押してメニューを終了します。

お願い・ヒント

- 以下の画像はリサイズできません。
  - サイズが640×480画素以下の画像
  - 記録画素数が [HDTV] で撮影された画像
  - 動画
  - コマ撮りアニメ
  - 音声付き画像
  - 回転画像（元に戻すとリサイズできます）
- 他機で撮影した画像からリサイズできない場合があります。

画像を切り抜く（トリミング）

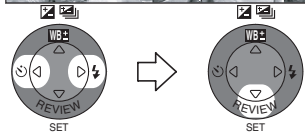
撮影した画像の不要な部分を切り抜きたいときなどに使います。

［トリミング］を選ぶ

画像を選び、設定する

3

切り抜く部分を選び、設定する

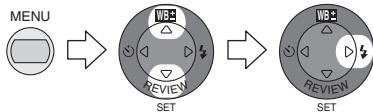
4

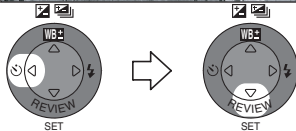
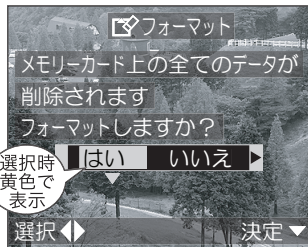
[はい] または [いいえ] を選び、設定する

- [はい]を選ぶと画像が上書きされます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。
- トリミング終了後、[MENU]ボタンを2回押してメニューを終了します。

● お願い・ヒント ●

- 以下の画像はトリミングできません。
  - サイズが640×480画素未満の画像
  - 記録画素数が [HDTV] で撮影された画像
  - 動画
  - コマ撮りアニメ
  - 音声付き画像
  - 回転画像（元に戻すとトリミングできます）
- 他機で撮影した画像からトリミングできない場合があります。
- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと画質が劣化します。

カードをフォーマットする (🗹)

1

[フォーマット] を選ぶ

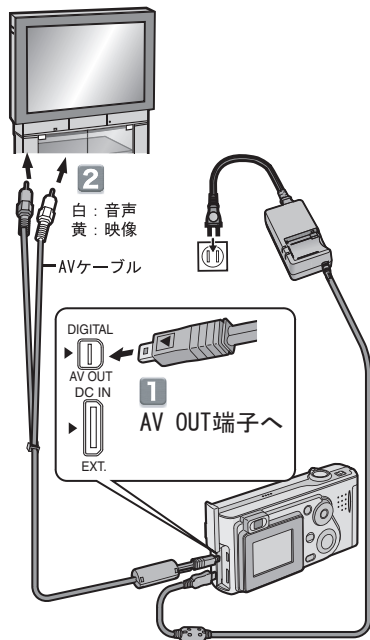
2

[はい]を選び、フォーマットする

お願い・ヒント

- 通常、カードはフォーマット（初期化）する必要はありません。「メモリーカードエラー」とメッセージが表示された場合にフォーマットしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットされたカードを使用する場合も、もう一度本機でフォーマットしてください。
- プロテクトされた画像も含めてすべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。
- フォーマット中は電源を [OFF] にしないでください。
- バッテリー残量（P17）が少ないときは、AC アダプターの使用をおすすめします。
- カードがロックされているときは、フォーマットできません。
- カードがフォーマットできないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

テレビで画像を再生する

■ AV ケーブル(付属)で見る

● 電源を [OFF] にし、テレビの電源も切っておく。

1

本機の AV OUT 端子に AV ケーブル(付属)を確実に接続する

● AV ケーブルの [◀] マークが AV OUT 端子の [▶] マーク側に向くように接続してください。

2

テレビの映像入力端子と音声入力端子に AV ケーブルを接続する

3

テレビの電源を入れ、外部入力にする

4

本機の電源を [ON] にし、モードダイヤルを再生 [▶] にする

●海外で見るときは 134 ページをお読みください。

■ SD メモリーカードスロット付きテレビで見る

SD メモリーカードスロット付きテレビに撮影したカードを入れて再生することができます。

記録画素数を [HDTV] に設定して撮影した画像をハイビジョンテレビで再生すると、より高画質な画像で見ることができます。

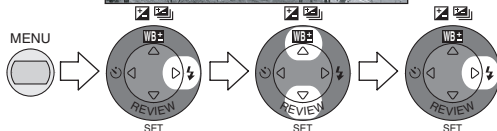
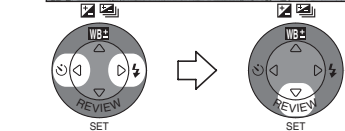
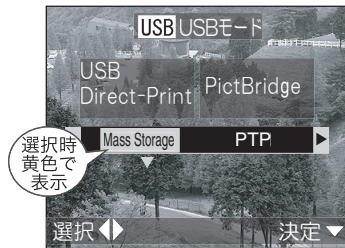
● お願い・ヒント ●

● 接続時は、本機の電源として AC アダプターを使うことをおすすめします。
● 付属の AV ケーブル以外は使わないでください。
● モードダイヤルを再生モード [▶] にしているときのみ、テレビに画像を表示させることができます。
● 画面が流れたり色が付かなかったりする場合は、[ビデオ出力] が [NTSC] に設定されているか確認してください。
● テレビの取扱説明書もお読みください。

USB 接続ケーブルを接続する前に（）

USB 接続ケーブル（付属）を使って本機とパソコンやプリンターに接続する前に、ご使用のパソコンの OS やプリンターに合わせて USB 通信方式を選択します。セットアップメニューの [USB モード] で設定してください。（P29）

1

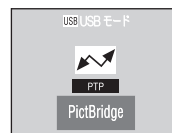
（撮影モード時）

2

USB モード	接続するパソコン	接続するプリンター
Mass Storage (USB Direct-Print)	Windows® XP Home Edition/Professional、 Windows® 2000 Professional、Windows® Me、 Windows® 98/98 SE、Mac OS X（10.1 以降）、Mac OS 9.x	USBダイレクトプリント対応のプリンター
PTP (PictBridge)	Windows® XP Home Edition/Professional、Mac OS X	PictBridge 対応のプリンター

■ Windows® 2000 Professional、Windows® Me、Windows® 98/98 SE、Mac OS 9.x をご使用の場合

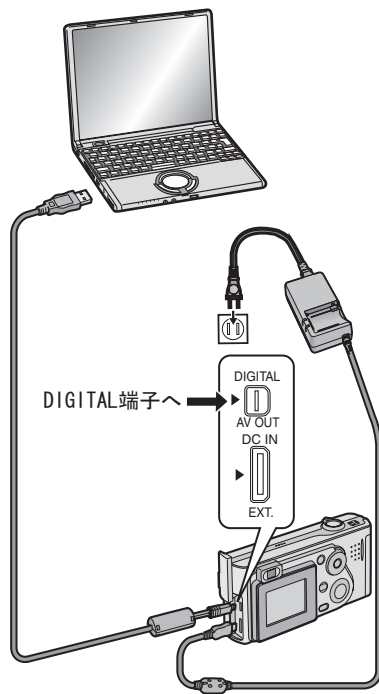
●本機をパソコンに接続する場合、セットアップメニューの [USB モード] を [PTP] に設定しないでください。（お買い上げ時は、[Mass Storage] に設定されています）

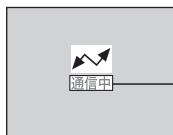
●Windows® 98/98 SEをご使用の方は、USBドライバーのインストールを行ってから接続してください。（Windows® Me/2000/XP、Mac OS 9.x、Mac OS X をご使用の方は、USB ドライバーのインストールの必要はありません）

●[USB モード] を [PTP] に設定して、上記の OS のパソコンと接続してしまったときは、本機側の液晶モニターには右のような画面が表示されます。

このとき、パソコンの画面には OS ごとに下記のメッセージが表示されます。「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

OS	メッセージ
Windows® 2000 Professional	新しいハードウェアの検索ウィザードの開始
Windows® Me Windows® 98/98 SE	ハードウェア情報データベースの更新　→　新しいハードウェアの追加ウィザード（パソコンに 2 回目以降接続したときは、「新しいハードウェアの追加ウィザード」のみ表示されます）
Mac OS 9.x	USB 装置（DMC-FX5 または DMC-FX1）に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを捜しますか？

パソコンと接続する

■ Mass Storage の場合

1 電源を [ON] にして、[USB モード] を[Mass Storage]に設定する(P102)

2 USB 接続ケーブル（付属）で、本機とパソコンを接続する

Windows の場合

[マイコンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

- 初めて接続したときは、Windows のプラグアンドプレイにより、本機を認識するために必要なドライバーが自動的にインストールされ、そのあと [マイコンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

Macintosh の場合

画面上にドライブが表示されます。

● お願い・ヒント ●

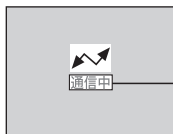
- 通信中はフラッシュ / アクセスランプが点灯します。
- パソコンと接続時は、本機の電源として AC アダプターを使うことをおすすめします。
- 通信中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐに通信を中止してください。そのあと電源を [OFF] にして、バッテリーを充電してください。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。
- 詳しくは、別冊の「パソコン接続編」をお読みください。

■ PTP の場合
Windows® XP、Mac OS X 以外の OS では設定しないでください。

1

電源を [ON] にして、[USB モード] を [PTP] に設定する（P102）

2

USB 接続ケーブル（付属）で、本機とパソコンを接続する

Windows の場合
[マイコンピュータ] フォルダーにカメラアイコンが表示されます。
- 初めて接続したときは、Windowsのプラグアンドプレイにより、本機を認識するために必要なドライバーが自動的にインストールされ、そのあと [マイコンピュータ] フォルダーにカメラアイコンが表示されます。

Macintosh の場合
- image captureまたはiPhotoで画像を読み込むことができます。

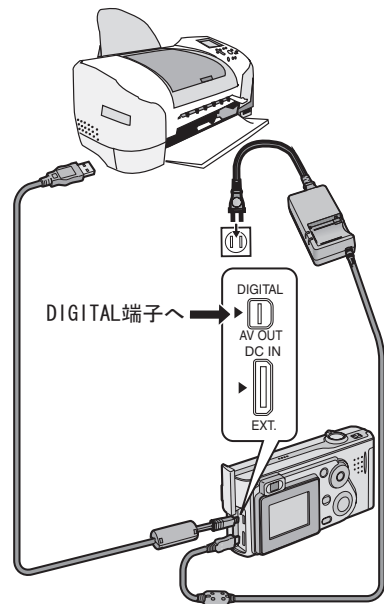
● お願い・ヒント ●

- [USBモード]を[PTP]に設定して、Windows XP、Mac OS X 以外の OS に接続した場合は、103 ページをよくお読みください。
- 通信中はフラッシュ / アクセスランプが点灯します。
- パソコンと接続時は、本機の電源としてACアダプターを使うことをおすすめします。
- 通信中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐに通信を中止してください。そのあと電源を [OFF] にして、バッテリーを充電してください。
- パソコンによっては、通信画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 本機からは、画像の読み出しのみ行うことができます。カードへの書き込みや、削除はできません。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。
- カードの中に1000枚以上画像があると、取り込めない場合があります。
- 本機とパソコンを USB 接続ケーブルで接続している状態で、パソコンがスタンバイ状態から復帰した場合、正常に通信できない場合があります。
- 詳しくは、別冊の「パソコン接続編」をお読みください。

PictBridge でプリントする

USB 接続ケーブル（付属）を使って本機を PictBridge 対応プリンターに直接接続し、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

■ 接続する

1

電源を [ON] にして、[USB モード] を [PTP]（PictBridge）に設定する（P102）

2

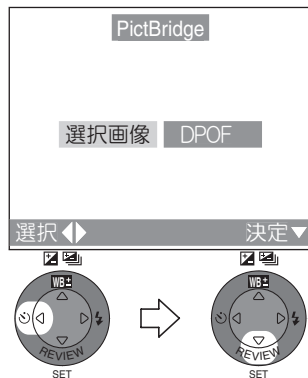
プリンターの電源を入れる

3

USB 接続ケーブル（付属）で、本機とプリンターを接続する

● お願い・ヒント ●

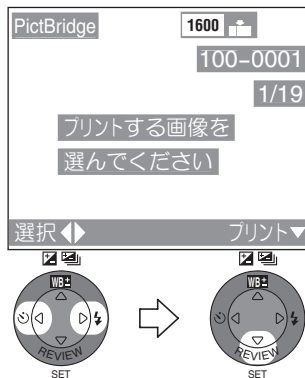
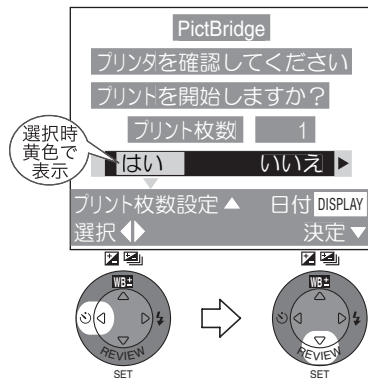
- 対応プリンターについてはプリンターメーカーにお問い合わせください。（プリンターの取扱説明書もお読みください）
- 通信中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐに通信を中止してください。そのあと電源を [OFF] にして、バッテリーを充電してください。
- 本機の電源として AC アダプターを使うことをおすすめします。
- 終了後、USB 接続ケーブルと DC コードを抜いてください。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。

• プリンターに接続する。（P106）
• 用紙サイズや印字品質などプリントの設定をする。（プリンターの取扱説明書をお読みください）

選択画像

[選択画像] を選ぶ

● DPOF プリントが設定されていない場合や、プリンターが DPOF プリントに対応していない場合は、2 の画面が表示されます。

画像を選ぶ

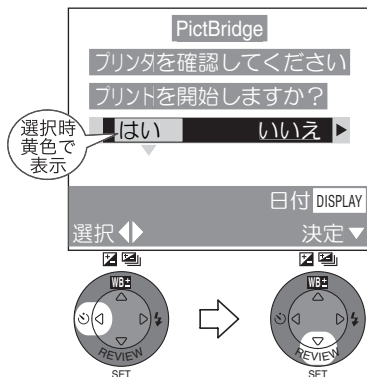
[はい] を選び、プリントする

● 日付プリントを設定したい場合は、[DISPLAY] ボタンを押してください。（日付プリントに対応したプリンター接続時のみ有効）
● プリント枚数を設定したい場合は ▲ を押して ◀/▶ でプリント枚数を設定し、▼/[REVIEW/SET] ボタンを押してからプリントしてください。
● 途中でプリントを中止したい場合は [MENU] ボタンを押してください。

PictBridge でプリントする（つづき）

• プリンターに接続する。（P106）
• あらかじめ本機で DPOF プリントの設定をしておく。（P82）
• 用紙サイズや印字品質などプリントの設定をする。（プリンターの取扱説明書をお読みください）

DPOF

[DPOF] を選ぶ

● 新たに設定した内容で DPOF プリントする場合は、一度USB接続ケーブルを抜いてから、もう一度プリンターに接続してください。
● [MENU] ボタンを押すと DPOF プリントの設定が変更できます。（P82）

[はい] を選び、プリントする

● 日付プリントを設定したい場合は [DISPLAY] ボタンを押してください。（日付プリントに対応したプリンター接続時のみ有効）
● 途中でプリントを中止したい場合は [MENU] ボタンを押してください。

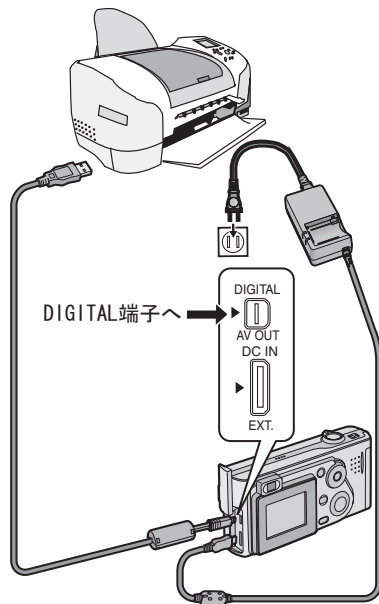
● お願い・ヒント ●

● 枚数表示が 1000 以上になると、残り枚数が[---]で表示される場合があります。
● DPOF に対応していないプリンターに接続した場合、DPOF 設定はできません。（DPOF プリント選択画面は表示されません）
● ケーブル切断禁止アイコン [] が表示されているときは、USB 接続ケーブルを抜かないでください。
● プリント中に黄色い[●]のアイコンが表示されているときは、プリンターからエラーメッセージを受けとっています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
● プリンターが DPOF の日付プリントに対応していない場合は、DPOF の日付設定どおりにプリントされない場合があります。
● 日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。

USB ダイレクトプリントする

USB 接続ケーブル（付属）を使って本機を USB DIRECT-PRINT 対応プリンターに直接接続し、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

■ 接続する

1

電源を [ON] にして、[USB モード] を [Mass Storage]（USB Direct-Print）に設定する（P102）

2

プリンターの電源を入れる

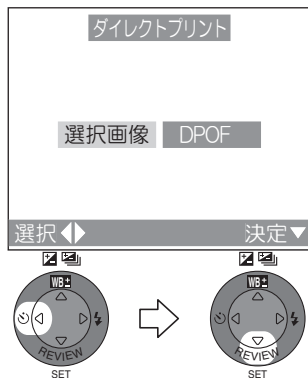
3

USB 接続ケーブル（付属）で、本機とプリンターを接続する

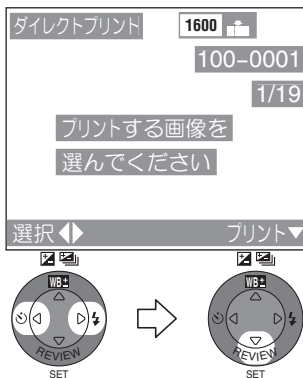
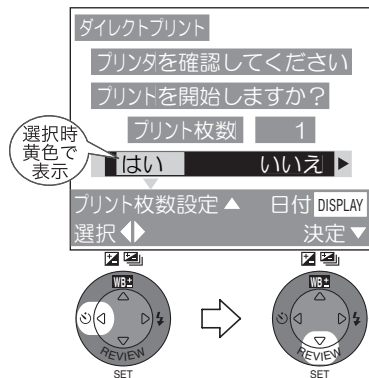
● お願い・ヒント ●

- 対応プリンターについてはプリンターメーカーにお問い合わせください。（プリンターの取扱説明書もお読みください）
- 通信中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐに通信を中止してください。そのあと電源を [OFF] にして、バッテリーを充電してください。
- 本機の電源として AC アダプターを使うことをおすすめします。
- 終了後、USB 接続ケーブルと DC コードを抜いてください。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。

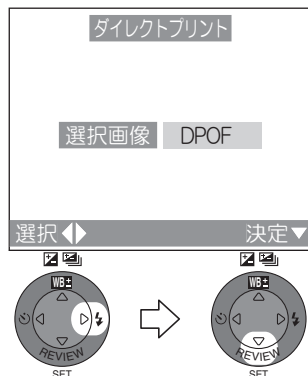
USB ダイレクトプリントする（つづき）

- プリンターに接続する。（P109）
- 用紙サイズや印字品質などプリントの設定をする。（プリンターの取扱説明書をお読みください）

選択画像

[選択画像] を選ぶ

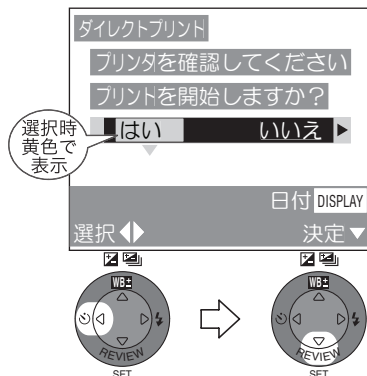
- DPOF プリントが設定されていない場合は、2 の画面が表示されます。

画像を選ぶ

[はい] を選び、プリントする

- 日付プリントを設定したい場合は、[DISPLAY]ボタンを押してください。
- プリント枚数を設定したい場合は ▲ を押して ◀/▶ でプリント枚数を設定し、▼/[REVIEW/SET] ボタンを押してからプリントしてください。
- 途中でプリントを中止したい場合は [MENU] ボタンを押してください。

- プリンターに接続する。（P109）
- あらかじめ本機で DPOF プリントの設定をしておく。（P82）
- 用紙サイズや印字品質などプリントの設定をする。（プリンターの取扱説明書をお読みください）

DPOF

[DPOF] を選ぶ

- 新たに設定した内容で DPOF プリントする場合は、一度USB接続ケーブルを抜いてから、もう一度プリンターに接続してください。
- [MENU] ボタンを押すと DPOF プリントの設定が変更できます。（P82）

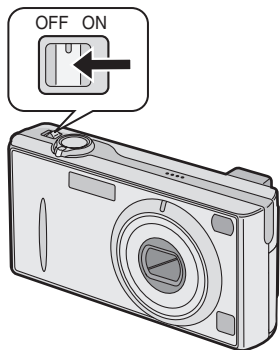
2

[はい] を選び、プリントする

- 日付プリントを設定したい場合は [DISPLAY]ボタンを押してください。
- 途中でプリントを中止したい場合は [MENU] ボタンを押してください。

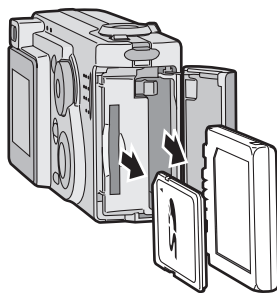
● お願い・ヒント

- 枚数表示が 255 以上になると、残り枚数が [---] で表示されます。
- [DISPLAY] ボタンを押して日付プリントを設定した場合、DPOF プリント設定の日付プリント設定（P86）に関係なく日付プリントされます。
- プリンターが DPOF の日付プリントに対応していない場合は、DPOF の日付設定どおりにプリントされない場合があります。
- 日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。

使い終わったら

1

電源を [OFF] にする

- レンズが収納されていることを確認してください。

2

カードとバッテリーを取り出す
(P19、P23)

● お願い・ヒント ●

■ 本機を長期間使用しないときは

- 必ずバッテリーを取り出しておいてください。(もう一度バッテリーを入れたときは、時計設定を確認してください)
- 高温、多湿、油煙の多いところに保管しないでください。レンズにかびが付いたり、つゆつきが起こったりする場合があります。
- 涼しく、乾燥していて、風通しのよい、ほこりや化学薬品のないところに保管してください。
- 長期間の保存には、密閉した容器に乾燥剤と一緒に入れることをおすすめします。

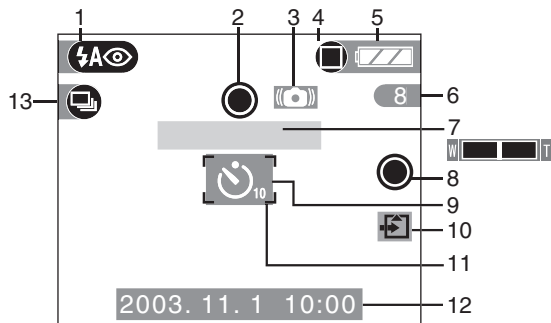
液晶モニターの表示

液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

撮影時

1 撮影モード(P5)
2 フラッシュモード(P39)
3 ホワイトバランス(P59)
4 ISO感度(P64)
5 記録画素数(P62)
6 クオリティ(圧縮率)(P62)
10 fps / 30 fps (動画コマ数):動画時
7 バッテリー残量(P17)
8 残り枚数/時間
動画時:×××秒
9 手ぶれ警告表示(P34)
10 記録動作表示
11 音声記録(P65)
12 カードアクセス表示(P21)
13 セルフタイマーモード(P43)
14 ヒストグラム表示(P31)
15 AFエリア(P32)
16 AF駆動(FOCUS時のみ)(P66)
17 シャッタースピード表示(P32)
18 絞り値表示(P32)
19 露出補正(P41)
20 現在日時(P25)
起動時/時計設定/再生モードから撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。
21 オートブラケット(P42)
22 スポットAFエリア(P63)
23 スポット測光ターゲット(P63)
24 ズーム(P38)
W T :
デジタルズーム設定時(P68)
25 フォーカス表示(P32)
26 連写(P44)
27 カラーエフェクトモード(P69)
28 手ぶれ補正表示(P71)

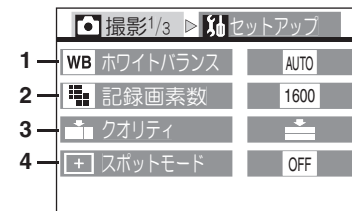
液晶モニターの表示（つづき）

かんたんモード時

1 フラッシュモード（P39）
2 フォーカス表示（P8）
3 手ぶれ警告表示
4 画質設定（P7）
5 バッテリー残量（P17）
6 残り枚数
7 ズーム（P38）
8 記録動作表示
9 セルフタイマーモード（P43）
10 カードアクセス表示（P21）
11 AF エリア（P32）
12 現在日時（P25）
起動時 / 時計設定 / 再生モードからかんたんモードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。
13 連写（P44）

再生時

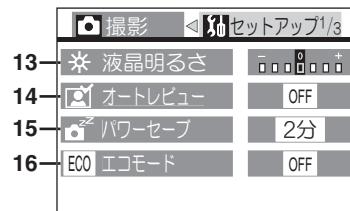
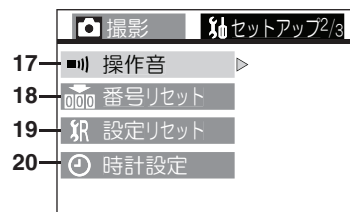
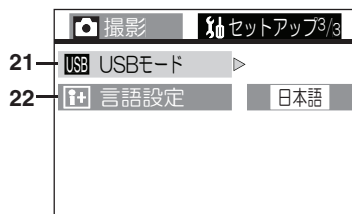
1 再生モード
2 DPOF[ ] プリント枚数(P82)
 (白):プリント設定済み
 (緑):スライドショー設定済み
 (緑)(プリント枚数付き):
プリント / スライドショーともに設定済み
3 プロテクト画像(P78)
4 音声付き画像(P75)
5 記録画素数(P62)
 :動画時
6 クオリティ(圧縮率)(P62)
5 fps / 10 fps / 30 fps :動画時
かんたんモード時
 :引き伸ばし
 :サービス版
 :E メール
7 バッテリー残量(P17)
8 フォルダー/ ファイル番号
9 ページ番号 / トータル枚数
10 ヒストグラム表示(P31)
[DISPLAY] ボタンを押すと表示されます。
11 撮影情報(P30)
(撮影モード/絞り値/シャッタースピード /ISO 感度 / フラッシュモード / ホワイトバランス)
[DISPLAY] ボタンを押すと表示されます。
12 撮影日時
13 音声再生(P75)
動画再生▼ :動画時(P76)
14 コマ撮りアニメ(P72)

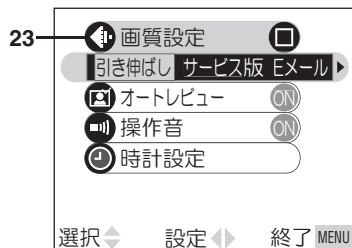
メニュー画面の表示

■ 撮影メニュー画面

1　ホワイトバランス(P59)
2　記録画素数(P62)
3　クオリティ(P62)
4　スポットモード(P63)

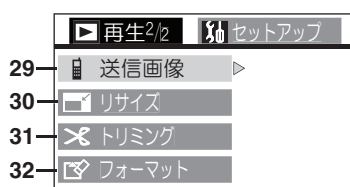
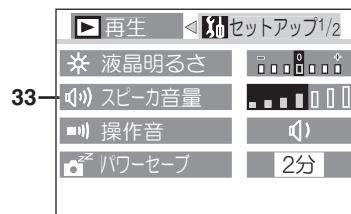
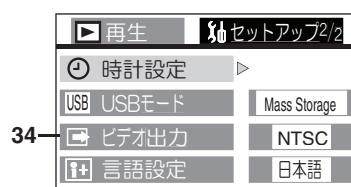
5　ISO 感度(P64)
6　音声記録(P65)
7　AF 駆動(P66)
8　デジタルズーム(P68)

※画面イラストは DMC-FX5 です。

9 カラーエフェクト(P69)
10 画質調整(P70)
11 手ぶれ補正(P71)
12 コマ撮りアニメ(P72)

13 液晶明るさ(P28)
14 オートレビュー(P28)
15 パワーセーブ(P28)
16 エコモード(P28)

17 操作音(P28)
18 番号リセット(P29)
19 設定リセット(P29)
20 時計設定(P25)

21 USB モード(P102)
22 言語設定(P29)

■ かんたんモードメニュー画面

23 画質設定(P7)

■ 再生メニュー画面

24 画像回転(P77)
25 プロテクト(P78)
26 DPOF プリント(P82)
27 スライドショー(P87)
28 アフレコ(P90)

29 送信画像(P91)
30 リサイズ(P96)
31 トリミング(P98)
32 フォーマット(P100)

33 スピーカ音量(P29)

34 ビデオ出力(P134)

番号記載のない項目は、撮影メニューの同名のものを参照してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
バッテリーパックの端子部（⊕と⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

- 不要（寿命）になったバッテリーについては129ページをご参照ください。
- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠危険

バッテリーパックは、本機専用のバッテリーチャージャー/ACアダプターで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする恐れがあります。

バッテリーチャージャー/ACアダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする恐れがあります。

⚠警告

フラッシュの発光部分を手で触らない

フラッシュの発光後、発光部分に触らないでください。
やけどの原因となります。

⚠警告

雷が鳴り出したら、本機の金属部やバッテリーチャージャー/ACアダプターなどの電源プラグに触れない

落雷すると、感電につながります。

煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く
内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

⚠警告

不安定な状態で使わない

転落すると、死亡や大けがにつながります。

- 安定した足場、安定した体勢を確保してください。

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない

火災・感電・故障につながります。

- 乳幼児にご注意ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電につながります。

- 必ず、乾いた手で持ってください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

落下すると、けがや製品の故障につながります。

⚠警告

分解や改造をしない

火災・感電･故障につながります。

- 修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。
- お手入れ時、または部品の取り外しや取り付けなどが必要な場合は、説明書の指示に従ってください。

交流100ボルト～240ボルト以外では使わない また、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

自動車など、乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

- 歩きながら使うときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

⚠警告

水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

- 水が入ったときは、販売店にご相談ください。
- 雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすいところで使うときは、ぬらさないようにご注意ください。

電源コードやプラグを破損させない

無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、コードの破損の原因となり、火災・感電につながります。

- 破損したときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

- プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- プラグは時々点検してください。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。

- いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。
- プラグは時々点検してください。

⚠注意

ケーブルを持って抜かない ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしない

ケーブルや機器の破損の原因となります。

- 必ず、プラグ部分を持って、まっすぐ抜いてください。

USB接続ケーブルはUSB用端子以外には装着しない

ケーブルや機器の破損の原因となります。

- 必ず、USB接続ケーブルを装着する前に、使用機器の端子がUSB用であることを確認してください。

フラッシュ発光中に至近距離（数cm）で発光部を直接見ない

強い光により、目をいためる恐れがあります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の恐れがあります。

⚠注意

高温になるところに放置しない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機、バッテリーなどを絶対に放置しないでください。熱で外装が変形し内部部品が破損すると火災・感電の恐れがあります。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。

電源コードを持って抜かない

コード破損の原因となり、火災・感電の恐れがあります。

- 必ず、電源プラグを持ってください。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

⚠注意

充電中や使用中は、機器の上に布などをかぶせない

熱で外装ケースが変形し内部が発熱すると、火災・感電・故障の恐れがあります。

指定以外の電池を使わない

指定以外の電池を使うと、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする恐れがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところでは使わない

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると火災・感電の恐れがあります。

- 3年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。（特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると、効果的です）
- 費用についても、そのときお確かめください。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

誤って内部に触れると、感電する恐れがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながる恐れがあります。
(カード保護のため、カードも取り出しておいてください)

使用上のお願い

■ 本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機の故障につながります。
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。万一雨水や水滴がかかったときも、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると外装ケースが壊れ、故障します。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーを外す、または電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 本機は、柔らかい乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を水でうすめ、布をひたし、よく絞って汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 万一雨水や水滴がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

■ バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

本機を長期間使用しないときは、必ずバッテリーを外す

- 付けたままにしておくと、本機の電源が[OFF] であっても、絶えず微少電流が流れています。これをそのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
（推奨温度 :15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度 : 40％～ 60％です）
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温・多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因となります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り外して再保管することをおすすめします。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- 使用したい時間の 3 ～ 4 倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるように AC アダプター（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P134）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に付けると、本機をいためます。

不要（寿命になったなど）バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱や火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。
- バッテリーには寿命があります。

不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、社団法人電池工業会小形二次電池再資源化推進センターのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.JBRC.com

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

充電式
リチウムイオン
電池使用

使用上のお願い（つづき）

■ AC アダプターについて

- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、AC アダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約 0.9 W の電力を消費しています）
- AC アダプターの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

■ つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が本機に起こった場合が「つゆつき」です。
つゆつきが起こっていると撮影できなくなります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は

下記のように温度差、湿度差があると起こります。

- 寒い屋外から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 車外から冷房の効いた車などに持ち込んだとき
- 寒い部屋を急に暖房したとき
- エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
- 湿気がたち込めるなど湿度の高いところ

つゆつきが起こった場合の処置

- 電源を[OFF]にし、2時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。
- 本機を寒い場所から暑い場所に移すときは、つゆつきの発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れ、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

■ カードについて

フラッシュ／アクセスランプとカードアクセス表示が点灯中（カードにアクセス中）は、メモリーカード / バッテリー扉を開けてカードやバッテリーを抜いたり、電源を切らない、また振動や衝撃を与えない
カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが壊れる恐れがあります。また、カードの内容が壊れたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運び時は収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが壊れたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 「しばらくお待ちください」と表示されているときは、絶対にバッテリーを取り外したり、AC アダプター（付属）を抜いたり、カードを取り出したりしないでください。データが壊れたり、故障の原因になります。

■ miniSD™ カード（別売）について

- miniSD™ カードを本機で使用する場合は、専用の miniSD™ アダプターを必ず装着してご使用ください。
- miniSD™ アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。必ず、miniSD™ カードを入れてご使用ください。

■ 液晶モニターについて

- 温度差が激しい場所では、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99％以上の高精度管理をしておりますが0.01％以下で画素欠けするものがあります。

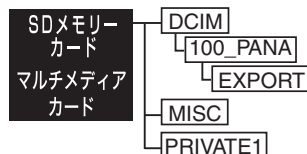
使用上のお願い（つづき）

■ 三脚について

市販のカメラ用三脚を使うと、シャッタースピードが遅いときや、望遠で撮影するときでも手ぶれのない安定した撮影ができます。

- カメラ用ミニ三脚（別売：DMW-CT1）も使えます。
- 三脚の取扱説明書もよくお読みください。

■ フォルダー構造について

データを記録したカードをパソコンに入れると、フォルダーが下図のように表示されます。

- 100_PANA フォルダーなどには最大で 999 枚の画像が記録されます。
- MISC フォルダーには DPOF 設定されたファイルが記録されます。
- EXPORT フォルダーには送信画像のファイルが記録されます。
- PRIVATE1 フォルダーにはコマ撮りアニメで撮影したファイルが記録されます。
- コマ撮りアニメで作成された動画は、100_PANA などのフォルダーに記録されます。

■ HDTV モードで撮影された画像のプリントについて

記録画素数を [HDTV] に設定して撮影された画像をお店やプリンターでプリントすると、画像の両端が切れてプリントされる場合がありますので、事前にご確認ください。
トリミング機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングの設定を解除してください。

記録画素数と記録枚数について

記録画素数	2304×1728（DMC-FX5）		2048×1536（DMC-FX1）		1600×1200		1280×960	
クオリティ	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
16 MB	約 8 枚	約 16 枚	約 10 枚	約 20 枚	約 17 枚	約 34 枚	約 22 枚	約 43 枚
32 MB	約 17 枚	約 34 枚	約 22 枚	約 43 枚	約 36 枚	約 72 枚	約 47 枚	約 90 枚
64 MB	約 35 枚	約 70 枚	約 45 枚	約 88 枚	約 74 枚	約 149 枚	約 96 枚	約 184 枚
128 MB	約 72 枚	約 142 枚	約 91 枚	約 178 枚	約 150 枚	約 301 枚	約 195 枚	約 372 枚
256 MB	約 144 枚	約 283 枚	約 181 枚	約 354 枚	約 300 枚	約 600 枚	約 390 枚	約 743 枚
512 MB	約 291 枚	約 571 枚	約 365 枚	約 714 枚	約 604 枚	約 1209 枚	約 785 枚	約 1497 枚

記録画素数	640×480		1920×1080（HDTV）	
クオリティ	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
16 MB	約 69 枚	約 129 枚	約 17 枚	約 34 枚
32 MB	約 145 枚	約 270 枚	約 36 枚	約 72 枚
64 MB	約 298 枚	約 553 枚	約 74 枚	約 149 枚
128 MB	約 602 枚	約 1118 枚	約 150 枚	約 301 枚
256 MB	約 1200 枚	約 2229 枚	約 300 枚	約 600 枚
512 MB	約 2418 枚	約 4491 枚	約 604 枚	約 1209 枚

- 記録枚数はめやすです。（ファイン、スタンダード混在時は変化します）

海外で使う

撮ったものを海外で見るには

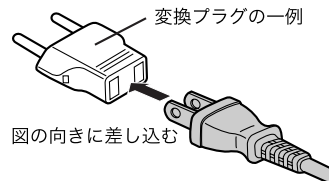
セットアップメニュー（再生モード）画面から [ビデオ出力] を選んで設定すると、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国・地域と、PAL 方式を採用している国・地域でテレビに接続して見ることができます。

日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

- アメリカ合衆国
- アンチグア・バーブーダ
- イエメン（一部地域）
- 英領バーミューダ諸島
- エクアドル
- エルサルバドル
- ガイアナ
- カナダ
- キューバ
- グァテマラ
- グァム島
- グレナダ
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- スリナム
- セントクリストファー･ネイビス
- セントビンセント・グレナディーン諸島
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ共和国
- ドミニカ国
- トリニダード・トバゴ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バハマ
- バルバドス
- フィジー
- フィリピン
- プエルトリコ
- 米領サモア
- ベトナム（一部地域）
- ベネズエラ
- ベリーズ
- ペルー
- ボリビア
- ホンジュラス
- マーシャル諸島
- マリアナ諸島
- ミクロネシア連邦
- ミャンマー
- メキシコ

AC アダプターは、全世界の電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけるように設計しております。
市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

AC アダプター（付属）を海外で使用するには

AC アダプターは、自動で全世界の電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）に切り換わるように設計されています。ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、次のページの表を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

ご使用にならないときは変換プラグを電源コンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A								
ヨーロッパ・旧ソ連地域											
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B, BF	イタリア	C	ウクライナ	C	オーストリア	C
オランダ	C	カザフスタン	C	ギリシャ	C	スイス	B, C	スウェーデン	C	スペイン	A, C
デンマーク	C	ドイツ	C	ノルウェー	C	ハンガリー	C	フィンランド	C	フランス	C
ベラルーシ	C	ベルギー	C	ポーランド	B, C	ポルトガル	B, C	ルーマニア	C	ロシア	C
アジア											
インド	B, C	インドネシア	B, C	シンガポール	B, BF	スリランカ	B	タイ	A, BF, C	大韓民国	A, B, C
台湾	A	中華人民共和国	A, B, BF, C, S	ネパール	C	パキスタン	B, C	バングラデシュ	C	フィリピン	A, C, S
ベトナム	A, C	香港特別行政区	B, BF	マカオ特別行政区	B, C	マレーシア	B, BF, C	モルジブ	B	モンゴル	C
オセアニア											
オーストラリア	S	グァム島	A	タヒチ	C	トンガ	S	ニュージーランド	S	フィジー	S
中南米											
アルゼンチン	BF, C, S	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B, C	ハイチ	A	パナマ	A
バハマ	A	プエルトリコ	A	ブラジル	A, C	ベネズエラ	A	ペルー	A, C	メキシコ	A
中東											
イスラエル	C	イラン	C	クウェート	B, C	ヨルダン	B, BF				
アフリカ											
アルジェリア	A, B, BF	エジプト	B, BF, C	カナリア諸島	C	ギニア	C	ケニア	B, C	ザンビア	B, BF
タンザニア	B, BF	南アフリカ共和国	B, C	モザンビーク	C	モロッコ	C				

タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
プラグ変換	不要です				

メッセージ表示

確認 / エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。

メッセージ	実行していただきたいこと
メモリーカードがありません	カードを入れてください。
このメモリーカードはプロテクトされています	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
メモリーカード残量がありません / メモリーカード残量が不足しています	新しいカードに取り換える、または不要なデータを削除してください。
モードダイヤルがずれています	モードダイヤルの位置がずれたまま電源を [ON] にしています。 モードダイヤルの位置を正しく合わせてください。
時計を設定して下さい	お買い上げ時や長期間保管していた場合などに表示されます。もう一度時計設定をしてください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから削除や上書きをしてください。
削除できない画像があります / この画像は削除できません	DCF 規格に準拠していない画像は削除できません。

メッセージ	実行していただきたいこと
設定枚数をこえました	複数削除で一度に設定できる枚数を超えています。一度決定してから、もう一度設定をしてください。
この画像には設定できません	DCF 規格に準拠していない画像は DPOF 設定できません。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか？	本機では認識できないフォーマットです。本機でフォーマットし直してください。 ※また、miniSD™ アダプターに miniSD™ カードを入れずに本機に挿入してもこの表示が出ます。必ず、アダプターに miniSD™ カードを入れてご使用ください。
システムエラー	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。 もう一度電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー	カードへのアクセスに失敗しました。 もう一度カードを入れてください。
リードエラー	データの読み込みに失敗しました。もう一度再生してください。
ライトエラー	データの書き込みに失敗しました。カードを抜くか、一度電源を [OFF] にしてから、もう一度 [ON] にして記録してください。またはカードが壊れている可能性があります。

故障かな？と思ったら

Q（質問）	A（回答）
電源が入らない。	バッテリーや AC アダプターは正しく接続されていますか？接続を確認してみてください。
	バッテリーは十分に充電されていますか？十分に充電されたバッテリーをお使いください。
電源が入っていてもすぐに切れる。	バッテリーが消耗していませんか？バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを入れてください。
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	この現象は、シャッターボタンを半押ししたとき撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。
画像が撮れない。	カードが入っていますか？
	モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？
	カードのメモリー残量はありますか？撮影する前にいくつかの画像を削除してください。
液晶モニターに画像が出ない。	液晶モニターが [OFF] になっていませんか？［DISPLAY］ボタンを数回押して表示を切り換えてください。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	液晶モニターの明るさを正しく調整してください。
内蔵フラッシュが発光しない。	フラッシュを発光禁止に設定していませんか？フラッシュモードを変更してください。
ピントが合わない。	モードダイヤルを回して、被写体までの距離に応じたモードにしてください。
	[AF 駆動] を [シャッター] に設定してください。

Q（質問）	A（回答）
再生できない。	カードが入っていますか？
	カードに再生できる画像はありますか？
	モードダイヤルは再生 [▶] に設定されていますか？
テレビに画像が出ない。 テレビ画面が流れたり、色が付かない。	テレビと正しく接続されていますか？確認してください。
	テレビはビデオ入力モードに設定してください。
	［ビデオ出力］を［NTSC］に設定してください。
パソコンに接続して画像を転送できない。	パソコンと正しく接続されていますか？確認してください。
	パソコンが本機を正常に認識していますか？
	USB モードは正しく設定されていますか？
時計が合っていない。	本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。「時計を設定して下さい」のメッセージが出ますので、もう一度時計の設定をしてください。
	時計設定をしない状態で撮影すると、[0. 0. 0　0:00] の日付が記録されます。
液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯する。	これは異常ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
USBダイレクトプリントまたはPictBridge対応のプリンターからプリントできない。	USB モードは正しく設定されていますか？
メニューの言語が日本語以外の表示になっている。	セットアップメニューで [ ] アイコンを選び、言語設定をしてください。

仕様

電源	DC 4.7 V
消費電力	2.2 W（液晶 ON 時） 1.0 W（液晶 OFF 時） 1.3 W（液晶再生時）

カメラ有効画素数	400 万画素（DMC-FX5) 320 万画素（DMC-FX1)
撮像素子	1/2.5 型 CCD 総画素数 423 万画素（DMC-FX5） 総画素数 334 万画素（DMC-FX1） 原色フィルター
レンズ	光学 3 倍ズーム f=5.8 〜 17.4 mm（35 mm フィルムカメラ換算：35 〜 105 mm）/ F2.8 〜 4.9
デジタルズーム	最大 3 倍
フォーカス	コントラスト検出　オート / マクロ スポット AF（スポットモード）
撮影範囲	通常： 50 cm 〜∞、 マクロ / かんたんモード時： 10 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）〜∞
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
連写撮影	4 コマ / 秒（高速)、2 コマ / 秒（低速） 最大 7 コマ（スタンダード）/ 最大 5 コマ（ファイン）（DMC-FX5） 最大 8 コマ（スタンダード）/ 最大 5 コマ（ファイン）（DMC-FX1）
動画撮影	320×240 画素、10 コマ / 秒、30 コマ / 秒 音声付き
ISO 感度	オート /50/100/200（DMC-FX5） オート /50/100/200/400（DMC-FX1）
シャッタースピード	8 〜 1/2,000 秒 動画：1/30 〜 1/2,000 秒
ホワイトバランス	オート / 晴天 / 曇り / 白熱灯 / セットモード
露出	プログラム AE 露出補正（1/3EV ステップ、−2 〜 ＋2EV）
測光方式	評価測光 / スポット測光（スポットモード）
液晶モニター	1.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶 （11.4 万画素）（視野率約 100%）
ファインダー	実像式光学ズームファインダー
フラッシュ	撮影範囲： W 端時：約 40 cm 〜 3.3 m/ T 端時：約 40 cm 〜 2 m （ISO200/AUTO 設定時） オート / 赤目軽減オート / 強制発光 / 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止

マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	SDメモリーカード／マルチメディアカード
記録画素数	2304×1728 画素 /1600×1200 画素 / 1280×960 画素 /640×480 画素 / 1920×1080 画素（静止画）（DMC-FX5） 2048×1536 画素 /1600×1200 画素 / 1280×960 画素 /640×480 画素 / 1920×1080 画素（静止画）（DMC-FX1） 320×240 画素（動画）
クオリティ （圧縮率）	ファイン / スタンダード
記録画像ファイル形式 静止画 音声付き静止画 動画	 JPEG（DCF準拠、Exif2.2準拠）、DPOF対応 JPEG（DCF 準拠、Exif2.2 準拠）+640×480 画素 QuickTime （音声付き静止画） QuickTime Motion JPEG（音声付き動画）
インターフェース デジタル アナログビデオ / オーディオ	 USB1.1 NTSC/PAL コンポジット（メニュー切り換え）/ オーディオライン出力（モノラル）
端子 DIGITAL/AV OUT DC IN/EXT.	 専用ジャック（8 pin） 専用ジャック（14 pin）

寸法 （幅 × 高さ × 奥行）	107.7×50.9×27.4 mm（突起部除く）
質量	約 165 g（本体） 約 185 g （SD メモリーカード、バッテリー含む）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10% ～ 80%

専用バッテリーチャージャー /AC アダプター : DE-929A/DE-929D

定格出力	DC 4.7 V　1.5 A（デジタルカメラ時） DC 4.2 V　0.65 A（充電時）
定格入力	AC100 ～ 240 V　50/60 Hz
入力容量	17 VA（100 V）、23 VA（240 V）

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BCA7

電圧 / 容量	3.6 V, 680 mAh

さくいん

液晶モニターまたはメニューの画面については P113 ～ P117 を参照してください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ **保証書（別添付）**

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間 ：お買い上げ日から 本体1年間
「本体」にはソフトウェアの内容は含みません

■ **補修用性能部品の保有期間**

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ **修理を依頼されるとき**

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製　品　名	デジタルカメラ
品　番	DMC-FX5 DMC-FX1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

- **保証期間中は**

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

- **保証期間を過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については、お買い上げの販売店が修理させていただきます。なお、修理料金については販売店にご相談ください。

- **修理料金の仕組み**

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、145～147ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…**06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

地区	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地区	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

首都圏地区

県	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

県	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

県	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

県	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

ナショナル／パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

四　国　地　区

香川	高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	高知	南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
徳島	徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125	愛媛	松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

九　州　地　区

福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
佐賀	佐賀市鍋島町大字 八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	天草	本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
長崎	長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目 5-33 ☎(099)250-5657
大分	大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	大島	名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉 2099-2 ☎(0985)63-1213		

沖　縄　地　区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0903

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される 商標です。
QuickTimeは米国および他の国々で登録された商標です。

愛情点検　長年ご使用のデジタルカメラの点検を！

こんな症状はありませんか	・電源コードやプラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水や異物が入った ・画像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

▼

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMC-FX5　DMC-FX1
販　売　店　名	☎（　）		
お客様ご相談窓口	☎（　）		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571－8505　大阪府門真市松生町1番4号

システム事業グループ
〒571－8503　大阪府門真市松葉町2番15号

F0903Re1103 (30000Ⓑ)

Panasonic
デジタルカメラ
DMC-FX5
DMC-FX1
取扱説明書